

令和5年度 シラバス

保育科1年

保育科1年

令和5年度入学生 開講科目表

柴田学園大学短期大学部

整理番号	系列	科目番号	科目名	単位	授業形態	担当者	卒業必修	幼稚園必修	保育士必修	ベビーシッター必修	開講時期・時間				備考
											1年		2年		
											前	後	前	後	
1	01共通	2101	学園と地域を知る	2	講義	島内智秋	○				2				生1・保1 同時開講
2	01共通	2102	倫理学	2	講義	齋藤雅俊					2				生1・保1 同時開講
3	01共通	2103	心理学	2	講義	小林琢哉						2			生1・保1 同時開講
4	01共通	2104	国語表現	2	講義	笹森雅子						2			生1・保1 同時開講 日本国憲法を含む。
5	01共通	2105	法学	2	講義	小野昇平		○			2				生1・保1 同時開講
6	01共通	2106	経済学	2	講義	兼平拓道					2				生1・保1 同時開講
7	01共通	2107	教養の化学	2	講義	柳町悟司					2				
8	01共通	2108	教養の生物学	2	講義	柳町悟司						2			
9	01共通	2110	キャリア基礎	1	演習	—									開講せず
10	01共通	2111	津軽を探る	1	講義	佐々木典彰						1			生1・保1 同時開講 90分×8回
11	01共通	2113	現代作法学	2	講義	笹森雅子	○				2				生1・保1 同時開講
12	01共通	2114	音楽	2	演習	金山茉莉花						2			生1・保1 同時開講
13	02外国	2131	英語(1)	2	演習	ウオーターズ雅代		○	○	○	2				
14	03保健	2141	保健体育	1	講義	神和人	○	○	○	○		1			生1・保1 同時開講 90分×8回
15	03保健	2142	体育実技	1	実技	神和人	○	○	○	○	2				2班編成
16	04専門	2201	教育原理と教職論	2	講義	齋藤雅俊		○	○	○		2			
17	04専門	2202	教育心理学	2	講義	佐々木典彰	○	○	○	○	2				
18	04専門	2203	図画工作基礎(1)	1	演習	蝦名敦子	○	○	○	○	2				2班編成
19	04専門	2204	図画工作基礎(2)	1	演習	蝦名敦子	○	○	○	○		2			2班編成
20	04専門	2205	運動あそび(1)	1	演習	今和香子	○	○	○	○	2				2班編成
21	04専門	2206	運動あそび(2)	1	演習	今和香子	○	○	○	○		2			2班編成
22	04専門	2208	ピアノ基礎(1)	1	演習	工藤・金山		○	○	○	2				2班編成
23	04専門	2209	ピアノ基礎(2)	1	演習	工藤・金山		○	○	○		2			2班編成
24	04専門	2214	保育原理(1)	2	講義	島内智秋	○		○	○	2				
25	04専門	2215	子ども家庭福祉(1)	2	講義	小野昇平	○		○	○		2			
26	04専門	2216	社会的養護(1)	2	講義	佐藤優輝	○		○	○		2			
27	04専門	2217	社会福祉	2	講義	若林一哉	○		○	○	2				
28	04専門	2218	子どもの保健	2	講義	佐々木美子	○		○	○		2			
29	04専門	2219	乳児保育(1)	2	講義	佐々木美子	○		○	○	2				
30	04専門	2220	子どもと音楽(1)	1	演習	工藤里砂子	○		○	○	2				2班編成
31	04専門	2221	子どもと音楽(2)	1	演習	工藤里砂子	○		○	○		2			2班編成
32	04専門	2224	表現	2	演習	工藤里砂子	○	○	○	○		2			
33	04専門	2234	情報技術(1)	1	演習	笹森雅子		○			2				2班編成
34	04専門	2235	情報技術(2)	1	演習	笹森雅子		○				2			2班編成
35	04専門	2236	教育実習	4	実習	教職課程委員会		○				集中	集中		
36	04専門	2237	教育実習事前事後指導	1	演習	島内・佐々木		○				1	1	1	1年:事前,事後各2回 2年:事前3回,事後1回 90分×8回
37	04専門	2238	保育者論	2	講義	相馬玲子			○	○	2				
38	04専門	2239	保育の計画と評価	2	講義	佐々木美子			○	○		2			
39	04専門	2240	乳児保育(2)	1	演習	佐々木美子			○	○		2			
40	04専門	2241	保育実習(1)	4	実習	保育士課程委員会			○	○	集中	集中			
41	04専門	2242	保育実習指導(1)	2	演習	江苺川淳子			○	○	2				
42	04専門	2243	保育原理(2)	2	講義	—									開講せず
43	04専門	2244	子ども家庭福祉(2)	2	講義	—									開講せず
44	04専門	2245	言葉	2	演習	笹森雅子	○	○	○	○		2			
45	04専門	2262	絵本学(1)	2	講義	佐々木典・江苺川・笹森						2			認定絵本士取得希望者
46	04専門	2263	絵本学(2)	2	講義	佐々木典・江苺川							2		認定絵本士取得希望者
47	04専門	2264	人間関係	2	講義	佐々木美子	○	○	○	○	2				
48	04専門	2301	学習サポート			保育科研究室					1	1			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K11001		学園と地域を知る		2	15	講義	30	前期	1年	島内智秋			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	実務経験
○													
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解) 2. 技能を確実に習得(技能習得)								
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力) 4. 状況を総合的に判断する(判断力) 5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○ ○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力) 7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性) 8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								○ ○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心) 10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力) 11. 計画を確実に実行する力(実行力)								
授業概要		教育理念「教育即生活」をもとにした暮らしの中の学びをテーマとする。暮らしや学びに必要な情報について学び、調べたり考えたりする。											
授業の到達目標		暮らしや学びに必要な情報提供や各回のテーマについて学び、調べたり深く考えたりする楽しさを知る。教育理念「教育即生活」について主体的にアプローチする。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計				100 %	
		期末レポート	70 %	授業内提出物	%	その他	30 %						
フィードバックの方法		毎回の予習・復習カードにより対応する。											
教科書・教材		特に使用しない											
参考書・参考文献等		『柴田やす伝』 他、各テーマごとに書籍の紹介をする											
履修上の注意等		毎回の予習・復習カードの提出をすること。講義から興味を持ったことを更に調べたり考えたりすること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
	1	オリエンテーション	短大で学ぶことについて	学生便覧を読み、持参すること			復習 (30分以上)						
	2	教育即生活について		『柴田やす伝』読み、持参すること			復習 (30分以上)						
3	進路の決定と偶然の計画について		進路決定の過程を考える (30分以上)			復習 (30分以上)							

4	情報社会に着目した暮らしと学び	情報の入手の仕方や発信方法について考える (30分以上)	復習 (30分以上)
5	女性の品格を考える	大人の品格について考える (30分以上)	復習 (30分以上)
6	大人になること、社会に出ることを考える	学生と社会人の違いについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
7	暮らしの中の所作の意味を考える	暮らしの中の所作を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
8	家族に関する暮らしと学び① (結婚を考える)	結婚について考える (30分以上)	復習 (30分以上)
9	家族に関する暮らしと学び② (子育てについて考える)	子育てについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
10	家族に関する暮らしと学び③ (子ども観・仕事・食・住まいについて考える)	自身の子ども観・仕事・食・住まいについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
11	家族に関する暮らしと学び④ (生活習慣・生活リズムについて考える)	自身の生活習慣や生活リズムを考える (30分以上)	復習 (30分以上)
12	生命の繋がりについて (ヒト・動物・植物など)	生命の繋がりについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
13	日本人の暮らしの変化について考える	日本人の暮らしの変化について考える (30分以上)	復習 (30分以上)
14	校訓から見える暮らしと学び	校訓を読み意味を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
15	暮らしと学びのまとめ レポート作成	これまでの講義を振り返り課題の準備をする (30分以上)	復習 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13001		倫理学		2	15	講義	30	前期	1年	齋藤雅俊			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	実務経験
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
		○											
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解) 2. 技能を確実に習得(技能習得)							○	
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力) 4. 状況を総合的に判断する(判断力) 5. 物事を分かりやすく伝える(表現力) 6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							○ ○ ○ ○	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性) 8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							○ ○	
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心) 10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力) 11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○ ○ ○	
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている										○	
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○	
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○	
授業概要		倫理思想史の歩みについての理解を深めながら、倫理的な考え方やものの見方に慣れ親しんでいく。その際、古代ギリシア時代から現代にわたる倫理的な諸問題（価値の相対主義・絶対主義、カント倫理学・功利主義、ゲーム理論、性善説・性悪説、臓器移植等にかかわる生命倫理、情報化社会における倫理・リテラシー、移民問題と自国のアイデンティティ、自他の利益相反etc...）を取り上げ、思考実験をしながら、「どのように生きるべきか」といった実存的な問いについて各々が思索を深めていく。											
授業の到達目標		"倫理的な考え方やものの見方を身につけるために、 ①倫理の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの倫理思想史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。"											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	45	%	計	100	%		
		期末レポート	55	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		授業内提出物等は返却する。											
教科書・教材		特になし。											
参考書・参考文献等		特になし。											
履修上の注意等		パワーポイントによるまとめプリントを配布する。配布物が多いため、各自綴るためのファイルを用意するとよい。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	ガイダンス・倫理学とはどのような学問か?					シラバスを読んでおく (30分)			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)				
2	倫理判断の原理① 価値の相対主義と絶対主義					前回の授業のプリントを読む (30分)			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)				
3	倫理判断の原理② 定言命法と仮言命法 (カント倫理学)					前回の授業のプリントを読む (30分)			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)				

4	倫理判断の原理③ 功利主義・最大多数の最大幸福（ベンサム、ミル）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
5	自己利益の追求か、他者との協力か？（囚人のジレンマ）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
6	個人の権利か、社会の維持か？（自由主義と共同体主義）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
7	犯罪者の人権をめぐる問題（死刑、少年法等）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
8	性善説と性悪説	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
9	グローバル社会、移民をめぐる問題	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
10	管理社会、監視社会をめぐる問題	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
11	生存権、命の尊厳をめぐる問題（生命倫理）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
12	福祉をめぐる問題（自分の人生を優先するか、親の介護を優先するか）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
13	規範意識、ルールを守るということ（『星野君の二墨打』より）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
14	世間への無知・無関心、「他人事」ということ	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
15	他者・世界のために生きるということ、「全体の奉仕者」とは？	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）

ナンバリング	科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
K13001	心理学		2	15	講義	30	後期	1年	小林琢哉				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目							実務経験				
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
		○											
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力		身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解) 2. 技能を確実に習得(技能習得)								○		
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力) 4. 状況を総合的に判断する(判断力) 5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○		
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力	6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力) 7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性) 8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								○		
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心) 10. 苦しいことにも挑戦する力(挑戦力) 11. 計画を確実に実行する力(実行力)										
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											
		②子どもの心身の特性を知っている											
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要	認知・思考、記憶、感情、人格などの主要な研究対象に関する心理学の基礎的知見の概観により、人間の心理とその研究方法について理解を深める。												
授業の到達目標	① 社会、人格、認知に関する心理学的知見について説明できる。 ② 心理学の研究方法について、その基本的な考え方を理解し説明できる。 ③ 心理学の知見を実生活に当てはめて自己の行動を説明することができる。												
単位認定の方法	期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %						
	期末レポート	70 %	授業内提出物	30 %	その他	%							
フィードバックの方法	授業内提出物を返却する。												
教科書・教材	特に指定しない。授業時に資料を配布する。												
参考書・参考文献等	藤田哲也(編) 絶対役立つ教養の心理学 ミネルヴァ書房												
履修上の注意等	配布資料は各自保管し、復習に活用すること。												
回	授 業 計 画				授業時間外学習								
					授業前・時間				授業後・時間				
1	心理学とは何か(オリエンテーション)				授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。				授業内容について配布資料を用いて復習する。				
2	人格の心理学 人格の理論と測定の方法				授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。				授業内容について配布資料を用いて復習する。				
3	社会心理学① 社会的認知とは何か				授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。				授業内容について配布資料を用いて復習する。				

4	社会心理学②印象形成 他者への印象はどのようにつくられるか	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
5	社会心理学③説得の過程と態度の変容	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
6	認知心理学①感覚・知覚 物・形の見え方	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
7	認知心理学②注意と意識	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
8	認知心理学③推論の過程	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
9	認知心理学④思考と意思決定	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
10	認知心理学⑤記憶の仕組み	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
11	感情心理学 感情とコミュニケーション	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
12	文化心理学 文化の中の自己	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
13	脳の心理学 脳科学・神経科学との接点	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
14	心理学研究の方法論	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。
15	心理学の歴史・実生活との接点	授業内容について、Web上の情報や書籍を手掛かりに自習する。	授業内容について配布資料を用いて復習する。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13001		国語表現		2	15	講義	30	後期	1年	笹森 雅子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	アソシエ ーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITバス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター
	○											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解) 2. 技能を確実に習得(技能習得)							○ ○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力) 4. 状況を総合的に判断する(判断力) 5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							○ ○ ○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力) 7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感) 9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力) 11. 計画を確実に実行する力(実行力)							
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		日常的で使用される実務的実用的な言語の表現をベースとし、国語の基礎知識の確認と応用力を養うための実践的問題演習を行う。										
授業の到達目標		正しい言語表現のあり方を理解し、一般社会人としての確で簡明な表現能力を身につける。書くこと・話すことの実践的表現能力を高める。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計	100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		提出課題（授業で演習する練習問題）について添削、返却をする。										
教科書・教材		使用しない（授業内容に応じて適宜プリントを配付する）。										
参考書・参考文献等		『表現のエチュード』（学術図書出版社）、『グループワークで日本語表現力アップ』（ひつじ書房）ほか										
履修上の注意等		事前に指示された事項はきちんと調べて受講すること。提出物は期日厳守のこと。										
回	授 業 計 画					授 業 時 間 外 学 習						
						授業前・時間			授業後・時間			
	1	受講受理（授業計画） 国語の定義、社会人と表現力、概論の授業方法と計画・内容について解説する。					事前にシラバスを読み、本科目の意義を理解しておくこと。			国語の意義を再確認し、配付プリント、ノートをしっかり整理する。（60分以上）		
	2	表現ということ 心を豊かに表現するために覚えておくべきこと					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）		
3	スムーズな人間関係を築くための言語表現 気配りの表現					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）			

4	書くということ 書くための準備(テーマ、材料集め、構成)	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
5	書くための基礎知識(1) 表記のきまり(現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方)について学習	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
6	書くための基礎知識(2) 表記のきまり(現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方)についての演習	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
7	書くための基礎知識(3) 書き方の工夫(文字、漢字、話言葉と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さ)について学習	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
8	書くための基礎知識(4) 書き方の工夫(文字、漢字、話言葉と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さ)についての演習	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
9	実用文を書く(1) 書簡文についての演習	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
10	実用文を書く(2) 履歴書についての演習	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
11	実用文を書く(3) 小論文の書き方①	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
12	実用文を書く(4) 小論文の書き方②	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
13	実用文を書く(5) 書くことについての演習	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
14	話すための基礎知識(1) 話し方の工夫、ポイント 聞くときの心構え、ポイント	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。(30分以上)
15	話すための基礎知識(2) さまざまな場面の話し方、演習	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。(30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K12501		法学		2	15	講義	30	前期	1年	小野昇平			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○			△	△	△	△	△	△	△			
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
		○	○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力		身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能		1. 知識を正確に理解する(知識理解) 2. 技能を確実に習得(技能習得)									○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力		3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力) 4. 状況を総合的に判断する(判断力) 5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)									○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力		6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力) 7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性) 8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)									○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力		9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心) 10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力) 11. 計画を確実に実行する力(実行力)									○
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている											
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○	
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		憲法改正の国民投票や国政選挙の投票権も18歳以上に引き下げられた現代においては、憲法には何が書いてあるのかということよりも、憲法とは何のためにあるのかということについて、「自分のこと」として深く考えることが不可欠です。この講義では、様々な具体例を通じて憲法の存在意義をしっかりと理解してもらおうと同時に、多様な場面における憲法の役割を論理的に説明できるようになることと目的とします。											
授業の到達目標		①憲法が何のためにあるのかを説明できるようになること。 ②憲法で保障されている様々な自由や権利がどのような場合にどのように問題となるのかを論理的に説明できるようになること。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100	%		
		期末レポート	80	授業内提出物	20	その他	%						
フィードバックの方法		毎回のコメントシートに書かれた受講生の考えを踏まえて次週に解説を行う。											
教科書・教材		日本国憲法の条文を用意して授業にのぞむこと。Webから印刷したものでも、中高の社会の教科書などでも可。											
参考書・参考文献等		授業中に指示する。											
履修上の注意等		スライドを使用して授業を行う。ノートは不要だが赤青黒のペン(鉛筆可)と、赤青の蛍光ペンを用意するとよい。											
回	授 業 計 画					授 業 時 間 外 学 習							
						授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間				
	1	憲法の中身を見てみよう					憲法の条文を読んでくる。2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。			
	2	「私たちの」国と憲法：国会・内閣・裁判所の役割はなんだろう？					「権力分立」という言葉の意味を調べて説明できるようにしておく。2時間			授業のスライドを見返しておく。1時間。			
3	国民主権：選挙は何のためにあるのだろうか？					衆議院議員選挙、参議院議員選挙のここ2回分の年代別投票率を調べてくる。2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。				

4	憲法9条と自衛隊、自衛権の問題	自衛隊が普段どのような活動をしているのか。何のためにあるのかを調べてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
5	憲法9条の成り立ち	自衛隊が日本以外のどのような場所でどのような活動をしているのか調べてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
6	基本的人権が制約される場合とは一飲酒対策法事件	配布された資料（飲酒対策法）をよく読んで、自分の考えをまとめてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
7	性犯罪継続監視法とプライバシーの権利	配布された資料（性犯罪継続監視法）をよく読んで、自分の考えをまとめてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
8	一票の較差と平等—憲法14条と平等権	「一票の較差」という言葉の意味を調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
9	男女の不平等！？：夫婦同姓制度と憲法14条、24条	「夫婦別姓問題」について調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
10	「家族」と憲法：同性婚が認められないのはなぜだろう	「同性婚問題」について調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
11	ピアノ伴奏をたくありません！—思想の自由と憲法19条	「思想良心の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
12	剣道は履修できないのですが…—信教の自由と憲法20条	「信教の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
13	人を傷つけるような表現はダメ！：表現の自由と憲法21条	「表現の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
14	教育は誰のため？何のため？：教育を受ける権利と憲法26条	「教育を受ける権利」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
15	憲法とは何のためにあるのだろう？	「アラブの春」という言葉の意味を調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13001		経済学		2	15	講義	30	前期	1年	兼平拓道			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	実務経験
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力		身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能		1. 知識を正確に理解する(知識理解) 2. 技能を確実に習得(技能習得)								○	
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力		3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力) 4. 状況を総合的に判断する(判断力) 5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力		6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力) 7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性) 8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)									
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力		9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心) 10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力) 11. 計画を確実に実行する力(実行力)								○	
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている											
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要	経済学の基本的知識である価格、インフレとデフレ、金利、株式、財政、為替、貿易などをわかりやすく解説する。												
授業の到達目標	グローバル経済の大きな潮流が家庭生活にどのような影響を与えるのかを分析し、将来への見通しを的確に立てられる能力を身に付ける。												
単位認定の方法	期末試験	%	授業内小テスト	70	%	授業内活動	%	計	100	%			
	期末レポート	%	授業内提出物	30	%	その他	%						
フィードバックの方法	授業内提出物を採点評価し、次の時間に返却する。												
教科書・教材	なし												
参考書・参考文献等	『日本経済新聞』（日本経済新聞社）『週刊東洋経済』（東洋経済新報社） 『週刊ダイヤモンド』（ダイヤモンド社）[いずれも短期大学部 図書館に常備]												
履修上の注意等	日頃から、新聞やテレビなどの経済ニュースに目を通しておくこと。 授業にはノートブックPCを持参するのが望ましい。												
回	授 業 計 画					授 業 時 間 外 学 習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	経済学とは何か 経済学が、日常生活にどのように関わってくるのかについて考える。					新聞（WEB）を読む			新聞（WEB）を読む				
2	モノの値段はどう決まるのか 経済的基礎条件の分析に必要とされる、マーケットメカニズムを学ぶ。					新聞（WEB）を読む			返却された提出レポートを復習				
3	好況や不況はどう決まるのか インフレとデフレの仕組みについて学び、それぞれのメリットとデメリットを理解する。					新聞（WEB）を読む			返却された提出レポートを復習				

4	景気変動はなぜ生じるのか 大戦後の経済史をふり返りながら、景気変動の仕組みについて学ぶ。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
5	金融とは何か 金融市場における銀行の役割と企業の資金調達について学ぶ。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
6	金利はどう決まるのか 金融市場における金利決定メカニズムの仕組みを学び、金利上昇局面と金利低下局面の経済動向について決定する。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
7	日銀は何をしているのか 日本銀行の仕組みを学び、金融政策が経済に与える影響を分析する。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
8	株の仕組みはどうなっているのか 株式のインカムゲインとキャピタルゲインの考え方を学ぶ。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
9	政府と経済とはどんな関係があるのか 政府の財政政策が、経済の重要な調整機能となっていることを学ぶ。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
10	日本の財政と年金はどうなっているのか 日本の財政危機と年金危機について、小泉構造改革を例に検討する。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
11	為替とは何か 円高と円安の仕組みを学び、我々の日常生活と関連づけて考える。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
12	TPPとは何か 自由貿易協定の仕組みを学び、TPP加盟後の経済成長を展望する。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
13	バブル経済とは何か バブル経済について、クレジット・クラッシュに焦点をあてて分析する。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
14	国際経済の問題とは何か 国際情勢の変容に伴う、今後の日本経済を展望する。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習
15	小テスト 経済学の基本的知識と課題を確認する。	新聞（WEB）を読む	返却された提出レポートを復習

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13001		教養の化学		2	15	講義	30	前期	1年	柳町悟司		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター
	○											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
			②子どもの心身の特性を知っている									
			③子どもにとって望ましい環境を理解している									
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要		一般的な化学反応について学んだ後、栄養素と体内物質の化学反応(代謝)、また、地球上で起こっている化学反応について学ぶ										
授業の到達目標		体内での化学反応(代謝)が生命維持のためにどのような役割を果たしているかを理解できるようになる										
単位認定の方法		期末試験	100 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		期末試験の採点終了後、希望者には点数を伝達する										
教科書・教材		使用しない(自作のプリントを授業時に配布し使用する)										
参考書・参考文献等												
履修上の注意等		高校で履修した化学を基礎とした内容ばかりではないが、理解するように努めてほしい										
回	授 業 計 画	授業時間外学習										
		授業前・時間	授業後・時間									
1	ガイダンス 授業の進め方に関する説明	不要	配布プリントの復習等・30分以上									
2	化学合成 目的とする物質の合成法	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上									
3	化学量論 物質について	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上									
4	化学量論 化学反応式について	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上									
5	発酵 細菌の関与する化学反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上									
6	化学反応とエネルギー 発熱反応・吸熱反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上									
7	代謝の概要 体内で起こる化学反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上									

8	代謝の個人差 体内で起こる化学反応(遺伝子が関与する化学反応)	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
9	糖質の代謝 糖質の利用法	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
10	脂質の代謝 脂質の利用法	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
11	タンパク質の代謝 タンパク質の合成	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
12	ミネラルの代謝 塩分の利用法	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
13	大気化学 大気中で起こっている化学反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
14	海洋化学 海水中で起こっている化学反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上
15	自発的に起こる化学反応 エンタルピーとエントロピー	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習等・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13001		教養の生物学		2	15	講義	30	後期	1年	柳町悟司		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	フロンセ ーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター
	○											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
			②子どもの心身の特性を知っている									
			③子どもにとって望ましい環境を理解している									
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要		新聞やニュース等で取り上げられる生物学のテーマを通じて、人類を含む生物に関する理解を深める										
授業の到達目標		新聞やニュース等で取り上げられる生物学のテーマを理解できるようになる										
単位認定の方法		期末試験	100 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		期末試験の採点終了後、希望者には点数を伝達する。										
教科書・教材		使用しない(自作のプリントを授業時に配布し使用する)										
参考書・参考文献等		羊土社 文系のための生命科学 ほか										
履修上の注意等		高校で履修した生物学を基礎とした内容ばかりではないが、理解するように努めてほしい										
回	授 業 計 画			授業時間外学習								
				授業前・時間				授業後・時間				
1	生物とは何か 地球上で初の生命はどのように誕生したか			シラバスに記載されている内容の確認				配布プリントの復習・60分以上				
2	生物の進化① 突然変異、適者生存			配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上				
3	生物の進化② 生物多様性、食物連鎖			配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上				
4	生物の進化③ 人類の誕生			配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上				
5	遺伝子① 遺伝子と体質の関係			配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上				
6	遺伝子② 転写・翻訳で起こっていること			配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上				
7	遺伝子③ DNAスイッチ、遺伝子の発現・細胞の分化			配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上				

8	病気の診断法 陽性・陰性, 偽陽性・偽陰性, 感度・特異度	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
9	免疫 自然免疫、獲得免疫、食物アレルギー	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
10	新型コロナウイルス① 新型コロナウイルス感染症の診断、感染防止の対策	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
11	新型コロナウイルス② パンデミックまでの流れ	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
12	生物の共生① ウイルスとヒトの関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
13	生物の共生② 腸内細菌とヒトの関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
14	生物の共生③ 家畜とヒトの関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
15	人類の発展 人類誕生から現在に至るまでの発展の歴史	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13001		津軽を探る		1	8	講義	16	後期	1年	佐々木典彰		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター
	○											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力		身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能		1. 知識を正確に理解する(知識理解) 2. 技能を確実に習得(技能習得)								
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力		3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力) 4. 状況を総合的に判断する(判断力) 5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力		6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力) 7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性) 8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力		9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心) 10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力) 11. 計画を確実に実行する力(実行力)								
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要	全8回シリーズ。弘前を中心とした津軽について、各方面の専門家(学内外のゲストスピーカー)から学ぶ。											
授業の到達目標	津軽への愛着を深め、今後の発展のためにすべきことを自分なりに考えて提案できる。											
単位認定の方法	期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計					100 %
	期末レポート	100 %	授業内提出物	%	その他	%						
フィードバックの方法	成績不良者に個別指導を行う。											
教科書・教材	なし。随時プリント等を用いる。											
参考書・参考文献等	津軽に学ぶ会「津軽学」(シリーズ) 「ひろさき読解本」(津軽ひろさき歴史文化観光検定公式テキスト) 弘前観光コンベンション協会											
履修上の注意等	ゲストスピーカーの都合等により不規則な開講になる可能性があります。詳細は初回時に伝えます。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習					
							授業前・時間		授業後・時間			
1	オリエンテーション 津軽への興味関心を高める						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上		授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上			
2	弘前の観光施策 ※ゲストスピーカーによる授業						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上		授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上			
3	津軽の歴史 ※ゲストスピーカーによる授業						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上		授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上			

4	岩木山の魅力 ※ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上
5	津軽の温泉文化	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上
6	津軽の食材と食文化 ※ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上
7	津軽の伝統楽器「津軽三味線」 ※ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上
8	振り返りとまとめ	授業の到達目標を達成できたかを自己評価する・30分以上	期末レポートに取り組む・30分以上
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K11001		現代作法学		2	15	講義	30	前期	1年	笹森雅子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター
○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力		身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能		1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力		2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
		4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○		
		5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○		
	多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力		6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○	
			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○	
	労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力		8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								○	
			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)									
			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)									
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)										
保育科			①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								○	
			②子どもの心身の特性を知っている									
			③子どもにとって望ましい環境を理解している								○	
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる								○	
授業概要		学生・社会人として身につけることが望まれる基本マナー、訪問と応対のマナー、言葉づかいと人間関係のマナー、手紙・ビジネス文書のマナー、食事のマナー、冠婚葬祭のマナー等から学ぶ。										
授業の到達目標		日本文化としての礼儀作法について、成り立ちと意味を理解する。さらに作法(マナー)の実際を学び、日常生活に活かしながら身につける。										
単位認定の方法		期末試験	40%	授業内小テスト	20%	授業内活動	20%	計		100%		
		期末レポート	%	授業内提出物	20%	その他	%					
フィードバックの方法		レスポンスシートや小テスト等の提出課題について添削、返却をする。										
教科書・教材		使用しない(授業内容に応じて適宜プリントを配付する)。										
参考書・参考文献等		『新生活教養-社会人としての基本マナー』(建帛社)ほか										
履修上の注意等		授業で学んだことを日常生活に活かすことができるように、意欲を持って受講すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
	1	オリエンテーション 現代作法学を学ぶことの意義並びに礼儀作法について 挨拶について					事前にシラバスを読み、当科目の意義を 考えておくこと。			授業後に小レポート(400字程度)を 作成し、次回授業で提出すること。 (60分以上)		
2	基本マナー(1) ~立ち居振る舞いの基本①~ お辞儀の基本・服装・身だしなみ					事前に配付されたプリントの内容を 参照し、授業で扱うテーマを予習し ておく。(30分以上)			プリントやノートをしっかり整理す る。わからない用語や不明な点は確 認し理解する。(30分以上)			
3	基本マナー(2) ~立ち居振る舞いの基本②~ 応対の基本姿勢、物の持ち方・渡し方					事前に配付されたプリントの内容を 参照し、授業で扱うテーマを予習し ておく。(30分以上)			プリントやノートをしっかり整理す る。わからない用語や不明な点は確 認し理解する。(30分以上)			

4	基本マナー(3) グループワーク 小テスト	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。(30分以上)
5	言葉づかいと人間関係 ～コミュニケーションと言葉～	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。わからない用語や不明な点は確認し理解する。(30分以上)
6	社会人としての基本マナー(1) ～職場のルールとマナー～ 職場の基本ルール、職場の仕組みと仕事の進め方のルール、身だしなみについて	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。わからない用語や不明な点は確認し理解する。(30分以上)
7	社会人としての基本マナー(2) ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。(30分以上)
8	社会人としての基本マナー(3) ～来客応対～ 来客応対の心得、受付の仕方、取り次ぎの仕方、案内の仕方 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。(30分以上)
9	社会人としての基本マナー(4) ～来客応対～ 緑茶の種類と入れ方・出し方、緑茶以外の飲み物緑茶の種類と入れ方・出し方の実際他 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。(30分以上)
10	社会人としての基本マナー(5) ～席次のマナー～ 席次の考え方、応接室の席次、会議室の席次、乗り物の席次	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。わからない用語や不明な点は確認し理解する。(30分以上)
11	電話応対 電話応対の心構え、かけ方・受け方のマナー、その他の通信機器 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。(30分以上)
12	手紙・ビジネス文書のマナー(1) 郵便知識とビジネス用語	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。わからない用語や不明な点は確認し理解する。(30分以上)
13	手紙・ビジネス文書のマナー(2) 手紙(はがき・封書)のマナー、メール・ビジネス文書のマナー	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。わからない用語や不明な点は確認し理解する。(30分以上)
14	食事のマナー ～T. P. O.に応じた食事のマナー～ 旅行のマナー ～旅行の際に心がけたい事柄～ 小テスト	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。わからない用語や不明な点は確認し理解する。(30分以上)
15	冠婚葬祭 ～慶弔贈答のマナー～	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。わからない用語や不明な点は確認し理解する。(30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13002		音楽		2	15	演習	30	後期	1年	金山茉莉花		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	ITセン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター
	○											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力		身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能		1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力		2. 技能を確実に習得(技能習得)								
				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								
		4. 状況を総合的に判断する(判断力)										
		5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○		
	多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力		6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○	
			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)									
			8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)									
			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○	
			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)									
保育科		11. 計画を確実に実行する力(実行力)										
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								○		
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								○		
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												
授業概要		<ul style="list-style-type: none"> 音楽に親しみを持って関わることで、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽への興味・関心を高める。 表現と鑑賞の実体験を通して、音楽文化の多様性について自分なりに考察する。 										
授業の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> 音楽に親しみを持って関わることで、音楽を愛好する心を養う。 表現や鑑賞を通して、音楽文化の変遷に気づき、文化の多様性を理解する。 										
単位認定の方法		期末試験	— %	授業内小テスト	— %	授業内活動	30 %	計		100 %		
		期末レポート	40 %	授業内提出物	30 %	その他	— %					
フィードバックの方法		<ul style="list-style-type: none"> 授業時に提出する出席カードにコメントを記入します。 翌回の授業時に、出席カードの記述に対するフィードバックを行います。 										
教科書・教材		使用しない。(授業時に適宜資料を配布します。)										
参考書・参考文献等		授業時に随時紹介します。										
履修上の注意等		<ul style="list-style-type: none"> 体験活動を行いますので、動きやすい服装で参加するようにしましょう。 音楽経験の有無(高校での芸術選択も含む)に関係なく、「音楽の楽しさや良さを知る」姿勢を大切に、授業に臨みましょう。 										
回	授 業 計 画					授 業 時 間 外 学 習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション・これまでの音楽の学びの振り返り					図書館やインターネット等で関連する内容を調べる。(目安として1週間あたり90分以上)			授業で配布する資料等を参考に復習する。(目安として1週間あたり90分以上)			
2	声を使った表現①—昭和時代に流行したポピュラー音楽					"			"			
3	声を使った表現②—平成時代に流行したポピュラー音楽					"			"			

4	声を使った表現③—令和時代に流行したポピュラー音楽	〃	〃
5	体を使った音楽表現①—即時反応	〃	〃
6	体を使った音楽表現②—音の高低・強弱・速度	〃	〃
7	楽器を使った表現①—小物打楽器	〃	〃
8	楽器を使った表現②—太鼓、シンバル	〃	〃
9	楽器を使った表現③—鍵盤打楽器	〃	〃
10	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現① —楽器の特徴や扱い方について	〃	〃
11	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現② —簡単な曲の演奏	〃	〃
12	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現③ —クリスマスソングの読譜	〃	〃
13	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現④ —クリスマスソングの演奏	〃	〃
14	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現⑤ —授業内発表会	〃	〃
15	まとめ—期末レポートの作成	〃	〃

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K12002		英語(1)				1	15	演習	30	前期	1年	ウォータース雅代
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○		
授業概要		英語の4技能の中でも中核となるスピーキングとリスニングを他の2技能（リーディング、ライティング）と組み合わせながら学び総合的な英語力の基礎を身につけ、保育現場の日常を描く英文を読解し、多様な場面での対話のロールプレイやライティングなどの練習問題を通して保育に関する英語基礎表現を学ぶ。また子供の行動や問題などを保護者に伝える方法などの英語表現も学ぶ。										
授業の到達目標		保育関連用語・表現・英文法を知り、英文読解力や保育者と子ども・保護者間の基礎的対話力を習得する。										
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	20 %	授業内活動	20 %					計 100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%					
フィードバックの方法		授業内小テストは採点后返却する。										
教科書・教材		"Speaking of Childcare 一保育学生のための英語コミュニケーション" ISBN 978-4-523-17883-5 南雲堂										
参考書・参考文献等		辞書以外に必要なものがある場合には、随時紹介する。										
履修上の注意等		教科書音声ストーリーミングサービスまたは付録のCDを利用した音読練習、内容把握、練習問題などの予習復習を行う。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						C			授業後・時間			
1	オリエンテーション 授業の流れの説明。Classroom English のプリント配布、発音練習 Unit 1 What' s your name? * Be動詞と一般動詞の現在形					教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)			
2	Unit 2 Where are you from? * 現在形の質問と答え					教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)			
3	Unit 3 Good morning! * 二語動詞・現在形と現在進行形・頻度を表す副詞					教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)			
4	Unit4 Are you OK? 色々な 病気や症状					教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のKey wordsを覚え病気や症状の英単語を理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)			
5	Unit5 What are you doing? * 特殊な動詞					教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)			
6	Unit6 How are you feeling? * 気分を表す形容詞					教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)			
7	Unit7 What' she like? * 人について表現する形容詞					教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。人について説明するためのKey wordsを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)			

8	Unit8 Do's and don'ts *命令文	教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
9	Unit 9 Let's eat lunch! *letの使い方	教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
10	Unit10 What do you want to do? *playground word	教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarとkey wordsを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
11	Unit 11 What do you have to do?* 助動詞	教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
12	Unit 12 I need to go potty *Make sure+S+Vの使い方	教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit内のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
13	Unit 13 Good job!*過去形 Unit14 Injuries and emergencies *過去形2	教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。Unit13と14のGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
14	Unit 15 We're goingto go outside *未来形	教科書を読んで学習範囲について音声を聞きながら予習する。UnitのGrammarを理解しPracticeを前もってやっておく。(30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
15	Review quiz	これまでの総復習、テキストをよく見て知らない単語や文法はよく調べて学習する。	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K11551		保健体育		1	8	講義	15	後期	1年	神 和人		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター
○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○	○	○								
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力		身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能		1. 知識を正確に理解する(知識理解) 2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力		3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力) 4. 状況を総合的に判断する(判断力) 5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○ ○ ○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力		6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力) 7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性) 8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								○
		労力を惜みず、生涯に渡って主体的に学ぶ力		9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心) 10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力) 11. 計画を確実に実行する力(実行力)								○ ○ ○
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要	健康に過ごすために身体内部の働きについて学ぶ											
授業の到達目標	授業計画にそった内容を理解する											
単位認定の方法	期末試験	100 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計					100 %
	期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%						
フィードバックの方法												
教科書・教材	プリント配布											
参考書・参考文献等												
履修上の注意等												
回	授 業 計 画						授業時間外学習					
							授業前・時間			授業後・時間		
1	保健体育についての概略説明						プリント配布に伴う概要把握：30分					
2	なぜ運動が必要か・健康と運動について						プリント内容確認：30分			運動が及ぼす影響を理解：30分		
3	体力とは何か						プリント内容確認：30分			体力について分類されていることの整理：30分		

4	運動をしないとどうなるか	体力についての理解：30分	人間の身体が変化することについて：30分
5	有酸素運動・無酸素運動	酸素を摂取して運動をすると、身体がどのように変化するか実践：40分	各自で実践：40分
6	生活習慣病について	プリント内容確認：30分	各自の生活習慣検証：30分
7	トレーニングの実施について	プリント内容確認：30分	身体運動の実施：40分
8	テスト	予習：1時間	テスト問題の確認：30分
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K11553		体育実技		1	15	実技	30	前期	1年	神 和人	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
○		○	○	○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									—
		②子どもの心身の特性を知っている									—
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									—
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									—
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									—		
授業概要		各種スポーツの技術習得・規則・協力									
授業の到達目標		スポーツの楽しさを体感し、生涯スポーツとしての基本を学ぶ									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	70	%	授業内活動	30	%	計 100 %	
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%				
フィードバックの方法		チーム戦術についてはチームごとに解説する									
教科書・教材		プリント									
参考書・参考文献等		特になし									
履修上の注意等		運動をするための服装・お互いの尊重・規則の厳守									
回	授 業 計 画				授業時間外学習						
					授業前・時間			授業後・時間			
1	体育実技のガイダンス：授業内容説明				準備運動の実施（ストレッチング）：30分			運動実施に向けた準備：20分			
2	体づくり運動（柔軟性・全身持久性）				準備運動の実施（ストレッチング）：30分			実技内容を理解し実施：30分			
3	体づくり運動（筋力・敏捷性）				準備運動の実施（ストレッチング）：30分			実技内容を理解し実施：30分			
4	バドミントンのガイダンス及びラケット・シャトルについて				準備運動の実施（ストレッチング）：30分			ラケット・シャトルとの距離把握：20分			
5	バドミントンの基本技術習得（ハイクリアー・ヘアピン）				ラケットの握り方、シャトルとの距離確認：20分			打点の確認：20分			
6	バドミントンの基本技術習得（ドライブ・ドロップ）				ラケットと打点の確認：20分			構え方・ラケットの傾き：20分			
7	バドミントンの基本技術習得（スマッシュ・レシーブ）				ハイクリアーの打点確認：20分			コンパクトな振り：20分			

8	バドミントンの基本技術習得（ゲーム方法・ルール・テスト練習）	チーム戦術の構築：30分	個人の役割とチーム戦術：30分
9	バドミントンの小テスト	チーム役割の確認：30分	チームとしての反省：20分
10	ソフトバレーボールのガイダンス	準備運動の実施：30分	ボールとの慣れ：20分
11	ソフトバレーボールの基本技術習得（レシーブ・トス）	ボールを捉え方：20分	ボールのコントロール：30分
12	ソフトバレーボールの基本技術習得（サーブ・アタック・ブロック）	正確なレシーブ・トス：30分	コンパクトな振り方・ブロック時の手の確認：20分
13	ソフトバレーボールの基本技術習得（ゲーム・ルール・テスト練習）	アタックのコンパクトな打法：30分	チーム戦術：30分
14	ソフトバレーボールの小テスト	戦術確認：30分	勝敗についての検証：30分
15	各種スポーツの実施	準備運動の実施：30分	各種スポーツの技術確認：30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
L21211		教育原理と教職論		2	15	講義	30	後期	1年	齋藤雅俊	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
○		○	○	○							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○
授業概要		「教育とは何か」という本質的な問いを念頭におきつつ、教職に関わる内容や、教育史における教育観・教育思想の変遷を概観しながら理解を深め、幼稚園教諭・保育士として、現実の教育・保育実践において出会うであろう様々な出来事に関しても「人間と教育」のより全体的な脈絡の中で考えていく。									
授業の到達目標		教育実践のための基礎力を身につけるべく、①教育の本質と目的、意義と理念、②教職の意義、役割や職務内容、③これまでの教育史の歩み、について理解し、レポート等で表現できる。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	45	%	計 100 %		
		期末レポート	55	%	授業内提出物	%	その他	%			
フィードバックの方法		授業内提出物等は返却する。									
教科書・教材		特になし。									
参考書・参考文献等		牛渡淳『教育学原論－教育の本質と目的』中央法規、2000年。									
履修上の注意等		パワーポイントによるまとめプリントを配布する。配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意するとよい。									
回	授 業 計 画				授業時間外学習						
					授業前・時間			授業後・時間			
1	ガイダンス&教育の基本的概念① 「教育とは何か（意味や意義から）」				シラバスを読んでおく（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
2	教育の基本的概念②「個性や自主性について」				前回の授業のプリントを読む（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
3	教育の基本的概念③「素質か環境か」				前回の授業のプリントを読む（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
4	教育の基本的概念④ 「教育の行われている（場）（学校・家庭・社会）」				前回の授業のプリントを読む（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
5	教職の意義、教員の役割・職務について①「教職とは」				前回の授業のプリントを読む（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
6	教職の意義、教員の役割・職務について② 「教員の役割・職務等」				前回の授業のプリントを読む（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
7	教職の意義、教員の役割・職務について③ 「教員に求められる資質・能力等」				前回の授業のプリントを読む（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			

8	教職の意義、教員の役割・職務について④ 「チーム学校・学び続ける教師等」	前回の授業のプリントを読む (30分)	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)
9	教育に関する歴史及び思想①～② 「古代ギリシャ、ヘレニズム・ローマ時代の教育」	前回の授業のプリントを読む (30分)	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)
10	教育に関する歴史及び思想③「中世の教育」	前回の授業のプリントを読む (30分)	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)
11	教育に関する歴史及び思想④ 「近世(15～17世紀)の教育」	前回の授業のプリントを読む (30分)	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)
12	教育に関する歴史及び思想⑤「近代(18世紀)の教育」	前回の授業のプリントを読む (30分)	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)
13	教育に関する歴史及び思想⑥「近代(19世紀)の教育」	前回の授業のプリントを読む (30分)	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)
14	教育に関する歴史及び思想⑦「現代(20世紀)の教育」	前回の授業のプリントを読む (30分)	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)
15	教育に関する歴史及び思想⑧「就学前教育の歴史」	前回の授業のプリントを読む (30分)	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。(60分)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K21221		教育心理学		2	15	講義	30	前期	1年	佐々木典彰			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験		
○		○	○	○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力											
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											
		②子どもの心身の特性を知っている											
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
授業概要		子どもの心の発達に関する心理学の基礎を学ぶ。ときどき心理テストで自分の心も調べる。毎時間の冒頭には、前回の復習としてoffice365を活用した振り返りを行う。											
授業の到達目標		子どもの心理の特徴を理解し、それをふまえて保育を行う際の工夫や配慮を述べるができる。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	42	%	授業内活動	%	計			100	%
		期末レポート	58	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。											
教科書・教材		なし。随時プリント等を用いる。											
参考書・参考文献等													
履修上の注意等		授業内小テストは各自のスマートフォン（パソコン）で行います。心理学では抽象的な言葉が多く使われます。その意味を適宜自分でも調べ、しっかり理解しましょう。											
回	授 業 計 画				授業時間外学習								
					授業前・時間				授業後・時間				
1	人間（性格など）は何によって決まるか				左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上				復習し、不明な点は質問する・30分以上				
2	乳児はどのような能力を持っているか				左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上				復習し、不明な点は質問する・30分以上				
3	乳児の心は何を求めているか				左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上				復習し、不明な点は質問する・30分以上				
4	乳児にどのように関わることが求められるか				左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上				復習し、不明な点は質問する・30分以上				
5	遊びを通して何を育むか				左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上				復習し、不明な点は質問する・30分以上				
6	幼児教育を通して何を育むか				左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上				復習し、不明な点は質問する・30分以上				
7	幼児はどのように世界を感じているか				左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上				復習し、不明な点は質問する・30分以上				

8	どうすれば物事を理解しやすくなるか	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
9	どうすれば物事を覚えやすくなるか	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
10	やる気はどうすれば高まるか	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
11	行動はどのようなきっかけで変わるか	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
12	良好な人間関係はどのようにすれば築けるか	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
13	いじめはなぜ起こるか	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
14	登壇拒否・不登校はなぜ起こるか	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
15	振り返りとまとめ	授業の到達目標を達成できたかを自己評価する・30分以上	期末レポートに取り組む・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		図画工作基礎(1)		1	15	演習	30	前期	1年	蝦名敦子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験	
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		子どもの発達過程を通して、小学校図画工作を視野に入れながら、幼児の造形活動の特色について実践的に理解する。特に様々な紙を材料として、ハサミやカッターなどの用具の使い方を徹底して身につけるため、紙の特性を生かした造形遊びや立体、折り紙、行事に関した飾り物などを製作する。										
授業の到達目標		幼児の造形活動に必要な様々な材料や用具に関する理解を深め、造形表現の基本的な知識や技能を習得する。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計			100
		期末レポート	%	授業内提出物	50	その他	%				%	
フィードバックの方法		授業で作った成果物は鑑賞する時間を設け、その際に開設する。また展示の仕方を工夫し、振り返りができるようにする。										
教科書・教材		幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼児造形の基礎（萌文書林）										
参考書・参考文献等		関連の資料プリントを配布したり、授業中に適宜、紹介する。										
履修上の注意等		提出物は必ず提出するようにすること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション、造形表現の意義、授業の進め方について、幼稚園教育要領・保育所保育指針と小学校学習指導要領図画工作					幼稚園教育要領の内容を概観する。30分。			学習内容を整理する。30分。			
2	表現のジャンルについて、子どもの発達過程と造形表現の特徴					幼稚園教育要領の内容を理解する。30分。			学習内容を整理する。30分。			
3	植物のスケッチ①					必要な用具の準備。10分			スケッチの練習。30分。			
4	植物のスケッチ②					植物の名前を調べる。30分			スケッチの完成。30分。			
5	材料・用具の扱い方：ハサミ・カッター、お面の帯を作成					材料・用具の準備。10分			用具の様々な使い方を繰り返し身に付け、お面の帯が未完成の場合は、完成させる。30分。			
6	お面づくり					作りたいお面について考える。30分。			お面が未完成の場合は完成させる。30分。			
7	紙に親しむ：固棒づくり、造形遊びの材料準備					材料・用具の準備。10分			学習内容の整理。30分。			

8	造形遊びの実践（新聞紙を丸めた棒を使って）	材料の準備。10分。	造形遊びの振り返り。30分。
9	立体製作：小さな生き物① 参考作品の鑑賞と製作	作りたい生き物に関する資料準備。30分。	製作の振り返りをし、まとめる。30分
10	立体製作：小さな生き物② 作品の完成	生き物の特徴について調べる。30分。	作品が未完成の場合は完成させる。30分。
11	折り紙：様々な折り方の習得	折り紙に資料準備。30分。	折り紙による提出物の完成。30分。
12	七夕飾り物：様々な紙や用具をつかって作成する。	七夕に関する資料収集。30分	飾り物を完成させ、飾り付ける。30分。
13	行事をテーマに立体物で表現① グループ活動	行事に関する資料収集。30分	学習内容の整理。30分。
14	行事をテーマに立体物で表現② グループ活動	材料・用具の準備。10分	途中経過の振り返り。30分。
15	行事をテーマに立体物で表現③ グループ活動 鑑賞	鑑賞に向けた準備。30分	学習内容の整理。30分。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		図画工作基礎(2)		1	15	演習	30	後期	1年	蝦名敦子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験	
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		造形表現の基本的な知識や技能を身につけるための造形練習、モダンテクニックなどの実践を通して、自己表現の制作にとりくむ。また幼児を対象とした題材を構想し、試作品と指導計画書を作成する。										
授業の到達目標		幼児の造形活動に必要な様々な材料や用具に関する理解をさらに深め、造形表現の基本的な知識や技能を身につけるとともに、独自に題材を構想し、試作品を作りながら指導計画書を作成できる。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計			100
		期末レポート	%	授業内提出物	50	その他	%					
フィードバックの方法		授業で作った成果物は鑑賞する時間を設け、その際に解説する。また提出物は展示をし、振り返りができるようにする。										
教科書・教材		幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼児造形の基礎（萌文書林）										
参考書・参考文献等		授業中に適宜紹介する。										
履修上の注意等		提出物は必ず提出するようにすること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション：授業の進め方について、幼稚園教育要領と小学校図画工作、造形練習①（鉛筆を使って）					幼稚園要領を概観する。30分			学習内容を整理する。30分。			
2	造形練習②と平面構成①（白黒）					材料・用具の準備。10分。			造形練習の課題を完成させる。30分			
3	平面構成② 技能					材料・用具の準備。10分。			完成に向けて進める。30分。			
4	平面構成③ 鑑賞					鑑賞のための作品準備。10分。			振り返りをまとめる。30分。			
5	モダンテクニックの実践（絵具を使って）①					モダンテクニックの材料・用具を準備する。10分			モダンテクニックの材料・用具を片付ける。10分			
6	モダンテクニックの実践（絵具を使って）②					モダンテクニックの材料・用具の準備。10分			モダンテクニックの材料・用具の片付け。10分			
7	コラージュ技法を取り入れた表現①「現代社会の風景」参考作品の紹介、資料収集と発想・構想					課題について自分のテーマを考える。30分			材料・用具の後片付け。10分			

8	コラージュ技法を取り入れた表現②「現代社会の風景」資料収集と発想・構想	自分のテーマに沿った材料・用具の準備。30分。	材料・用具の後片付け。10分
9	コラージュ技法を取り入れた表現③「現代社会の風景」技能	自分のテーマに沿った表現の構想を練る。30分。	材料・用具の後片付け。10分
10	コラージュ技法を取り入れた表現④「現代社会の風景」技能	表現の手順について考える。30分。	材料・用具の後片付け。10分。 作品が完成していない場合は完成させる。30分以上。
11	コラージュ技法を取り入れた表現⑤「現代社会の風景」鑑賞	作品を並べて、鑑賞の準備をする。10分。	振り返りをまとめる。30分。
12	自由課題① 題材についての説明、参考作品の紹介、題材考案と構想	参考作品の鑑賞。10分	題材について準備する。30分。
13	自由課題② 試作	試作のための材料・用具の準備。30分	試作を続ける。30分。
14	自由課題③ 試作と個人計画書作成	個人計画書の準備。10分	試作と個人計画書の完成。30分。
15	自由課題④ 自由課題と個人計画書の発表、振り返り	鑑賞のための提出物を展示する。10分。	振り返りをまとめる。30分。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21132		運動あそび(1)		1	15	演習	30	前期	1年	今 和香子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
○		○	○	○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
授業概要		乳幼児の身体発達や運動能力を広義に理解しながら、さまざまな運動遊びが子どもの身体発育・発達にどれだけ意義深いものであるかを知る。また、実際に運動遊びを幅広く体験することによって、遊びのもつ楽しさや喜びを感じながら身体運動に関する基本的な知識や技術を学習する。									
授業の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における運動遊びの必要性を理解する。 ・幼児の運動遊びについて理解を深める。 ・身体運動・身体表現に関する基本的な知識・技術を身に付ける。 									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	30	%	授業内活動	20	%	計 100 %	
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%			
フィードバックの方法		<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、授業内活動（動きの習得状況等）終了後に解説する。 ・授業内小テスト返却時に解説する。 ・授業内提出物返却時に解説する。 									
教科書・教材		「幼児の楽しい運動学習」・不昧堂出版									
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。									
履修上の注意等		テキストを参考に幼児の運動遊びについて調べ、講義終了後に指導上の留意点についてまとめる。									
回	授 業 計 画				授業時間外学習						
					授業前・時間			授業後・時間			
1	講義内容を把握し、幼児期における運動遊びの必要性を学ぶ。 (基本ステップを継続的に実施し、身体表現の技能を身に付ける)				テキストを参考に内容を概観する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	幼児向けに創作された体操について学ぶ。				幼児向け体操について調べる。 ・20分			講義内容をノートにまとめる。 幼児体操の動きを復習する。 ・40分			
3	歩く・走る・跳ぶなどの基本動作をリズムに合わせて動く。				テキストを参考に基本動作を調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	基本動作の応用①基本動作にジャンケンを加えて、発展させた遊びを体験する。				テキストを参考に基本動作の発展遊びを考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	基本動作の応用②投げる・蹴るなどの基本動作を中心に、的当て・的入れの遊びを体験する。				テキストを参考に基本動作を用いた的当ての入れの遊びを考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
6	リズム表現①基本となるステップを用いて、音楽に合わせて自由に表現する。				既習の基本ステップを確認する。 ・20分			講義内容をノートにまとめる。 音楽に合わせたステップを復習する。 ・40分			
7	リズム表現②基本となるステップを用いて、音楽に合わせて自由に表現する。				身体表現の動きを考える。 ・20分			講義内容をノートにまとめる。 音楽に合わせた身体表現の復習をする。 ・40分			

8	リズム表現③タンバリン・鈴などを用いて、音楽に合わせて自由に表現する。	タンバリン・鈴などを用いた身体表現の動きを考える。 ・20分	講義内容をノートにまとめる。 音楽に合わせて身体表現の復習をする。 ・40分
9	共通の題材を基にグループごとにオリジナルの動きや隊形を考える。	オリジナルの動きを考えやグループの隊形を考える。 ・20分	講義内容をノートにまとめる。 それぞれのグループの動きや隊形を復習をする。 ・40分
10	簡単にできる鬼遊びやゲーム遊びを体験する。	簡単にできる鬼遊びやゲーム遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
11	わらべ歌を用いた遊びを体験する。	わらべ歌を用いた遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
12	幼児向けのフォークダンスを体験する。 用語を理解しながら、指導法を学習する。	幼児向けフォークダンスについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 幼児向けフォークダンスの復習をする。 ・30分
13	さまざまな音やリズムに合わせて身体表現をする。 水遊び指導上の留意点等を知る。	水遊びに使えるような身近な材料を探す。 ・20分	講義内容をノートにまとめる。水遊びの遊具を改良する。 ・30分
14	水遊びについて実践的に学ぶ。	水遊び指導上の留意点を復習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
15	これまでの学習を振り返る。	講義全体を通しての疑問などをまとめておく。 ・30分	運動遊び(1)の内容を整理する。 ・30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21132		運動あそび(2)				1	15	演習	30	後期	1年	今 和香子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験	
○		○	○	○									
身につけるべき力											該当項目に○		
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている										○	
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○	
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○	
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		乳幼児の身体発達や運動能力を広義に理解しながら、さまざまな運動遊びが子どもの身体発育・発達にどれだけ意義深いものであるかを知る。また、実際に運動遊びを幅広く体験することによって、遊びのもつ楽しさや喜びを感じながら身体運動に関する基本的な知識や技術を学習する。											
授業の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における運動遊びの必要性を理解する。 ・幼児の運動遊びについて理解を深める。 ・身体運動・身体表現に関する基本的な知識・技術を身に付ける。 											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	30	%	授業内活動	20	%	計		100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%					
フィードバックの方法		<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、授業内活動（動きの習得状況等）終了後に解説する。 ・授業内小テスト返却時に解説する。 ・授業内提出物返却時に解説する。 											
教科書・教材		「幼児の楽しい運動学習」・不昧堂出版											
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。											
履修上の注意等		テキストを参考に幼児の運動遊びについて調べ、講義終了後に講義内容（指導上の留意点など）についてまとめる。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	小型遊具（ボール・フープ・縄）を使った遊びの特徴・内容を学習する。 (縄跳びを継続的に実施し、体力の向上も図る。)						テキストを参考に小型遊具を使った遊びを考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	ボール遊び①ボールを使った遊びの効果や特徴などを実践を通して理解し、指導法を学習する。						ボール遊びについて調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
3	ボール遊び②ボールを使った基本動作を応用させて遊びを体験する。						ボールを使った基本動作を確認する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	ボール遊び③簡単なルールを用いたボールゲーム（転がしドッジボール・ドッジボールなど）を体験し指導法を学習する。						ボールゲームについて調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	フープ遊び①フープを使った遊びの特徴や効果などを実践を通して理解し、指導法を学習する。						フープ遊びについて調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
6	フープ遊び②フープを使った基本動作を応用させて遊びを体験し、指導法を学習する。						フープを使った基本動作を確認する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
7	フープ遊び③簡単なルールを用いたフープゲームを（カラーパスケット・陣取りなど）を体験し、指導法を学習する。						フープゲームについて調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			

8	縄跳び遊び①縄を使った遊びの効果や特徴などを実践を通して理解し、指導法を学習する。	縄を使った遊びについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
9	縄跳び遊び②長縄を使った遊びを体験し、指導法を学習する。	長縄を使った遊びについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
10	縄跳び遊び③長縄と短縄を使った遊びを体験し、指導法を学習する。	長縄と短縄を使った遊びを考える。 縄を使った遊びの動きを確認する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
11	障害走①子どもの年齢に適した障害走の内容を学習する。	年齢に応じた運動遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
12	障害走②子どもの年齢に適した障害走の内容を学習する。	障害走①の動きを確認する。 年齢に応じた運動遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
13	自然と地形を活かした遊び（雪を利用した遊びを体験する。） ※天候不良の場合は理論で行う	自然と地形を活かした遊びについて調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
14	さまざまな音やリズムに合わせて身体表現をする。	運動遊び（1）の身体表現に関する内容を復習しておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
15	これまでの学習を振り返る。	講義全体を通しての疑問などをまとめておく。 ・30分	講義全体を振り返り、ノートの内容を整理する。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21132		ピアノ基礎(1)		1	15	演習	30	前期	1年	金山茉莉花・工藤里砂子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○	○	○	○							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要		個人の習熟度や経験により、それぞれ課題を設定する。毎回課題として出された曲を次の授業までに譜読みし練習することで、指使いや打鍵等の技術を身に付ける。また曲の構成についても学ぶ。									
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。初心者はそのために必要なピアノ演奏に関する基本的な知識や技術を習得する。既習者はより深い表現に必要な高度な演奏技術を身に付ける。									
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	40 %	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%				
フィードバックの方法		毎時間のレッスンにおいて、各自の課題を指摘・指導する。また、練習した曲や内容を記入した「レッスン記録表」を提出してもらい、確認、返却する。									
教科書・教材		「歌唱教材伴奏法」教育芸術社 「幼児のための音楽教育」教育芸術社									
参考書・参考文献等		適宜、楽譜を配布する									
履修上の注意等		初回授業に配布する「レッスン記録表」に練習した曲、及び学びや気付きについて記録し、必ず担当教員の印を受ける。また各自ファイルを用意し、配布楽譜などを保管する。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	授業ガイダンス ピアノ演奏のための指番号について (教科書p.5)					入学前に配布した音楽資料をよく読んでおく・30分			指番号を覚え、鍵盤上あるいは机上で動かしてみる・30分		
2	五線譜の読み方とピアノの鍵盤の位置 右手・左手・両手の練習					入学前に配布した音楽資料をよく読んでおく・30分			五線譜の読み方を復習し、毎日ピアノを練習することで楽譜と鍵盤の位置を完全に結びつけるようにする・30分		
3	ハ長調のI・Vによる和音伴奏① (教科書p.4~6)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分		
4	ハ長調のI・Vによる和音伴奏② (教科書p.7~9)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、3拍子の感覚を身に付ける・30分		
5	ハ長調のI・Vによる和音伴奏③ (教科書p.10~11)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分		
6	応用曲「かつこう」「ちょうちょう」 (教科書p.9・12)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分		
7	ハ長調のI・V・V7による伴奏型① (教科書p.14~15)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しい和音は確実に覚える・30分		

8	ハ長調のI・V・V7による伴奏型②(教科書p.18~19)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しい伴奏型は確実に覚える・30分
9	ハ長調のI・V・V7による伴奏型③(教科書p.20~21)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、復習練習する・30分
10	右手の八分音符(教科書p.22~23)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、復習練習する・30分
11	左手の八分音符(教科書p.24)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、右手の八分音符も引き続き練習する・30分
12	両手の八分音符(教科書p.25)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
13	応用曲「チューリップ(ハ長調)」「おててをあらいましょう(教科書p.38)」	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分
14	応用曲「むすんでひらいて(教科書p.52)」「おおきなくりの木の下で(教科書p.92)」	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分
15	実技試験に向けての練習と総まとめ	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、実技試験に向けて復習練習する・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21132		ピアノ基礎(2)		1	15	演習	30	後期	1年	金山茉莉花・工藤里砂子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○	○	○	○							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要		個人の習熟度や経験により、それぞれ課題を設定する。毎回課題として出された曲を次の授業までに譜読みし、練習することで、指使いや打鍵等の技術を身に付ける。また曲の構成についても学ぶ。									
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。初心者はそのために必要なピアノ演奏に関する基本的な知識や技術を習得する。既習者はより深い表現に必要な高度な演奏技術を身に付ける。									
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	40 %			計	100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%				
フィードバックの方法		毎時間のレッスンにおいて、各自の課題を指摘・指導する。また、練習した曲や内容を記入した「レッスン記録表」を提出してもらい、確認・返却する。									
教科書・教材		「歌唱教材伴奏法」教育芸術社 「幼児のための音楽教育」教育芸術社									
参考書・参考文献等		適宜、楽譜を配付する									
履修上の注意等		初回授業に配布する「レッスン記録表」に練習した曲、及び学びや気付きについて記録し、必ず担当教員の印を受ける。また各自ファイルを用意し、配付楽譜などを保管する。									
回	授 業 計 画				授業時間外学習						
					授業前・時間			授業後・時間			
1	へ長調の音階とI・V・V7による和音伴奏(教科書p.32~33)				レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、へ長調の基礎知識を覚える・30分			
2	応用曲「きらきら星(教科書p.76)」「まつぼっくり(教科書p.94)」				レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分			
3	付点四分音符と八分音符のリズム(教科書p.40~41)				レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しいリズムを正確に弾けるようにする・30分			
4	応用曲「メリーさんのひつじ(へ長調)」「ぞうさん(教科書.110)」				レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分			
5	いろいろな指使い① 指ひろげ(教科書p.48~49)				レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分			
6	いろいろな指使い② 八度の跳躍と左手の指ひろげ(教科書p.52)				レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分			
7	いろいろな指使い③ 指またぎと指くぐり：へ長調のスケール(教科書p.56)				レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、へ長調の音階を確実に弾けるようにする・30分			

8	応用曲「こいのぼり(教科書p.43)」「ありさんのおはなし(教科書p.83)」	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分
9	十六分音符(教科書p.64~65)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
10	付点八分音符と十六分音符のリズム(教科書p.72)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しいリズムを正確に弾けるようにする・30分
11	応用曲「朝のうた(教科書,36)」「おかえりのうた(教科書p.39)」	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分
12	三連符(教科書p.60~62)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、新しいリズムを正確に弾けるようにする・30分
13	臨時記号(教科書p.68~70)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
14	応用曲「おばけなんてないさ(教科書.63)」	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習し、弾き歌いも試みる・30分
15	実技試験に向けての練習と総まとめ	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、実技試験に向けて復習練習する・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21011		保育原理(1)		2	15	講義	30	前期	1年	島内智秋	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター							実務経験
○		○		○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		保育士として基礎的知識を理解し、実践へつなげる力を養う。保育の基本である「保育の意義・目標・内容」「保育の原理」「子どもの遊びの意義」「子どもの発達特性」「保育所の健康・安全上の留意事項」などについての学び、理解して身につけていく。									
授業の到達目標		保育の本質や保育の原理、子どもの発達過程に適した保育や環境について理解する。									
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%				
フィードバックの方法		講義終了後、振り返りシートに質問や疑問を記入し提出させ、次の時間に解説し「わからない」を解決する。									
教科書・教材		『なぜからはじめる保育原理』池田隆英・上田敏文ほか編著 建帛社 『保育所保育指針解説書』厚生労働省（平成30年改訂版）									
参考書・参考文献等		『保育原理』民秋言・河野利津子 北大路書房 『保育原理』天野珠路・北野幸子 中央出版									
履修上の注意等		実践につなげるようイメージし、発言したり質問したりして積極的な態度で臨んでほしい。									
回	授 業 計 画				授業時間外学習						
					授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 保育の理念と概念				子どもの最善の利益とは何か考えてくる (30分以上)			復習 (30分以上)			
2	保育の基本 保育対象としての子ども ーなぜ子どもを保育するのかー				子ども観について考えてくる (30分以上)			復習 (30分以上)			
3	福祉としての保育 ーなぜ保育所が必要なのかー				なぜ保育所が必要か考えてくる (30分以上)			復習 (30分以上)			
4	保育所保育指針の考え方ーなぜ保育所は教科書を用いないのか 幼児の発達の特徴と保育① 2歳児について				なぜ保育所は教科書を用いないのか考える (30分以上)			復習 (30分以上)			
5	発達過程に応じた保育ーなぜ子どもの発達理解は大切なのか 幼児の発達の特徴と保育② 3歳児について				なぜ子どもの発達を学ぶのか考える (30分以上)			復習 (30分以上)			
6	保育方針と指導計画 幼児の発達の特徴と保育③ 4歳児について				保育実践の成り立ちを考える (30分以上)			復習 (30分以上)			
7	保育のねらいと内容・遊びの充実と保育士の援助 幼児の発達の特徴と保育④ 5歳児について				子どもの遊びと保育者の援助を考える (30分以上)			復習 (30分以上)			

8	遊びと環境構成・保育における指導の総合性 幼児の発達の特徴と保育⑤ 6歳児について	なぜ保育所に遊具があるのか考える (30分以上)	復習 (30分以上)
9	子ども観・保育観とともに成長する保育士・遊びにおける個と集団 への配慮	保育者の記録と保育者の成長を考 える (30分以上)	復習 (30分以上)
10	保育におけるPDCAサイクルとは何か 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて①	保育のPDCAサイクルを考える (30分 以上)	復習 (30分以上)
11	保育の形態と保育士の役割 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて② 保育内容と方法・乳幼児の発達の特徴と保育⑥6か月未満児について	保育形態による保育士の役割を考 える (30分以上)	復習 (30分以上)
12	保育内容と方法 乳幼児の発達の特徴と保育⑦ 6か月から1歳3か月未満児について 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて③	この時期の子どもの発達を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
13	保育内容と方法 乳幼児の発達の特徴と保育⑧ 1歳3か月から2歳未満児について 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて④	この時期の子どもの発達を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
14	現在の保育を取り巻く状況について気になった記事から考える (グ ループで深めていく) 2日間実習で悩んだことやもっと知りたいことについて⑤	気になった保育の記事等を持ってく る (30分以上)	復習 (30分以上)
15	現在の保育をとりまく状況について (保育所・幼稚園・認定こども 園・新制度について)	保育をとりまく状況について考える (30分以上)	復習 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21011		子ども家庭福祉(1)		2	15	講義	30	後期	1年	小野昇平	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
○		○		○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									
		②子どもの心身の特性を知っている									
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要		保育士は、「児童の保育および保護者に対する指導を行う」児童福祉の専門職であり、子どもを保育するだけではなく、地域における子どもや家庭に関する諸問題についての支援者としての役割も求められる。それゆえこの講義では、子ども家庭福祉の諸制度に共通する総論部分についての理解を深めると同時に、現代の子どもや家庭が置かれている社会の状況についても深く考えることを目的とする。									
授業の到達目標		子ども家庭福祉の各種サービスに共通する点について、専門職としての保育士に求められる最低限の知識を身に着けること。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %			
		期末レポート	70 %	授業内提出物	30 %	その他	%				
フィードバックの方法		毎回のコメントシートに書かれたことを踏まえて次週に振り返りを行う。									
教科書・教材		特になし									
参考書・参考文献等		講義内で紹介する。									
履修上の注意等		聞いたことのない言葉が多く出てくるので、予習復習をすること									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	なぜ「子どもの福祉」ではなく「子ども『家庭』福祉」なのだろう？					「厚労省 子ども」で検索。HPを見て、どのような政策があるか見ておく。週2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。		
2	子どもや家庭を巡る現代社会の現状を理解しよう					クレヨンしんちゃんとサザエさんの世界は何が違うかについて考えておく。週2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。		
3	子ども家庭福祉に関する具体的な問題をいくつか見てみよう					「伝説のお母さん」で検索。番組のあらすじをよく見ておく。週2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。		
4	子ども家庭福祉の理念と歴史①—「子ども」観の変遷を理解しよう					江戸時代や明治時代の子どもたちはどう扱われていたか考えておく。週2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。		
5	子ども家庭福祉の理念と歴史②—「子どもの最善の利益」とはどういうことだろうか？					「子どもの最善の利益」で検索、どのような意味かを調べておく。週2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。		
6	子ども家庭福祉の制度の全体像を見てみよう					「児童福祉制度 解説」で検索し、WAM-NETのHPをよく読んでおく。週2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。		
7	子ども家庭福祉の諸政策を巡る都道府県と市町村の役割分担を考えよう					弘前市役所と青森県庁のHPで子どもに関する部分を見て比較しておく。週2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。		

8	様々な児童福祉施設の役割について理解しよう—小テスト	「児童福祉施設」にはどのような種類があるか調べておく。週2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
9	児童福祉施設による社会的養護とその問題点を考えよう	「社会的養護」で検索し、厚労省のHPを見ておく。週2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
10	子ども家庭福祉の専門職にはどのような職種があるのだろうか？これらの職に求められるものは何だろうか？	「保育士」以外に、子どもに関する資格には何があるか調べておく。週2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
11	子育て支援の諸政策について現状を理解し、問題点を考えよう	「弘前市 ぎゅっと」で検索、市のHPをよく見ておく。週2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
12	多様な保育ニーズへの対応を考えよう	保育所以外の「保育」サービスには何があるか調べておく。週2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
13	子ども子育て支援新制度で何が変わったのだろうか？	「子育て支援新制度」で検索、内閣府のHPをよく見ておく。週2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
14	子ども子育て支援新制度で解決されていないこと	1回目3回目のスライドを見返しておく。週2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
15	世界と日本の子どもたち—子どもの権利条約と子ども家庭福祉	「子どもの権利条約」で検索、ユニセフのHPをよく見ておく。週2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員						
K21011		社会的養護(1)		2	15	講義	30	後期	1年	佐藤優輝						
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目														
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験					
○		○		○												
身につけるべき力											該当項目に○					
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○					
		②子どもの心身の特性を知っている									○					
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○					
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている														
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○					
授業概要		社会的養護の分野は里親委託の推進や施設の小規模化、地域分散化が急がれるなど変化が著しい。また児童虐待の問題や要保護家庭への支援など幅広い知識が求められる。テキストに沿いながら実践の様子も交え、講義形式で社会的養護の全体像について理解を深める。														
授業の到達目標		社会的養護の役割を理解する。 支援者としての視点を身につける。 社会的養護の現状や課題を理解する。														
単位認定の方法		期末試験			%		授業内小テスト		%		授業内活動		30 %		計	100 %
		期末レポート			40 %		授業内提出物		%		その他		30 %			
フィードバックの方法		提出課題について口頭で解説するとともに、必要に応じて参考文献等を示す。 レポートは評価の基準を口頭で解説する。														
教科書・教材		新・社会的養護の原理(社会的養護Ⅰ) 櫻井奈津子 青踏社														
参考書・参考文献等																
履修上の注意等		社会的養護で学ぶ子どもを捉える視点は、すべての子どもをとらえる視点につながる。 講義形式ではあるが、学生との双方向的なやりとりの機会を多くしたいと考えているので、積極的に 発言・質問し社会的養護についての理解を深めてほしい。														
回	授 業 計 画					授業時間外学習										
						授業前・時間			授業後・時間							
1	社会的養護とは															
2	子どもの権利について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)										
3	社会的養護での権利擁護					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)										
4	社会的養護の歴史について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)										
5	家庭養護と地域分散化について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)										
6	施設養護と小規模化について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)										
7	支援者の資質と専門性について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)										

8	支援者の資質と専門性について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
9	支援者の倫理観と自己覚知について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
10	チームアプローチについて	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
11	スーパービジョンについて	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
12	パーマネンシーの重要性について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
13	地域との連携について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
14	施設運営管理について	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
15	これからの社会的養護について		

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K21021		子どもの保健		2	15	講義	30	後期	1年	佐々木美子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験		
○		○		○									
身につけるべき力											該当項目に○		
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											
		②子どもの心身の特性を知っている									○		
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○		
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○		
授業概要		子どもの心身の健康と保健の意義、身体的発育・発達を学ぶとともに、心身の健康状態把握について、子どもの疾病の予防及び適切な対応について学ぶ。											
授業の到達目標		子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と身体的な発育・発達と保健について理解する。健康状態とその把握の方法、疾病とその予防法、他職種間の連携・協働の下での適切な対応を理解する。個や集団の心身における健康問題発生を最小限に抑え、問題発生時対応できるように学ぶ。											
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %			計	100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%						
フィードバックの方法		課題レポートは添削、授業で解説する。											
教科書・教材		「授業で現場で役立つ！子どもの保健テキスト」編著 小林美由紀・編集協力 森脇 浩一 診断と治療社											
参考書・参考文献等		必要に応じて資料配布											
履修上の注意等		確認プリントで各章のポイントを押さえ、振り返り問題を解きながら理解を深める。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	「子どもの健康と保健」 ①保健活動の意義と目的					シラバスに目を通す 教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
2	「子どもの健康と保健」 ②子どもの出生と母子保健の意義 ③現代社会における子どもの健康に関する現状と課題					日本や各自の出身県の出生数や出生数減少の背景について調べる 教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
3	「子どもの発育・発達と保健」 ①子どもの身体発育と運動機能の発達					教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
4	「子どもの発育・発達と保健」 ②生理機能の発達と生活習慣					教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
5	「子どもの発育・発達と保健」 「地域における保健活動と子どもの虐待防止」					弘前市で行われている健康支援について調べる 教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
6	「子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握①」					教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
7	「子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握②」					教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上

8	「子どもの病気」 ①子どもの免疫の発達と感染症の特徴	各自が罹患した感染症名・罹患年齢を調べる 教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
9	「子どもの病気」 ②感染症の予防及び適切な対応	各自の予防接種歴、接種年齢を調べる 教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
10	「子どもの病気」 ③救急疾患の特徴と適切な対応 ④新生児の病気、新生児にわかる先天性の病気の特徴と対応	各自の出生時身長や体重等を調べる 先天性の疾患について調べる 教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
11	「子どもの病気」 ⑤アレルギー疾患の特徴と適切な対応	アレルギー疾患について調べる 教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
12	「子どもの病気」 ⑥慢性疾患の特徴と適切な対応 「子どもへの健康指導を考える①」	教科書を読む 健康指導の内容・方法について考える 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
13	「保護者との情報共有と家族の支援」 「子どもへの健康指導を考える②」	教科書を読む 課題への取り組み 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
14	「子どもの健康診断と関連機関との連携」 「子どもへの健康指導を考える③」	教科書を読む 課題への取り組み 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
15	「子どもへの健康指導を考える④」 まとめ	課題への取り組み 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K21031		乳児保育(1)		2	15	講義	30	前期	1年	佐々木 美子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目								
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入					実務経験
○		○		○						
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力								該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								
		②子どもの心身の特性を知っている								○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している								○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								
授業概要		乳児期は人生の出発点であり、人間が一生のうちで最も成長する時期である。共働き家庭の増加や核家族等乳児を取り巻く社会状況を理解し、現代社会における乳児保育の意義、目的と役割や課題を知る。3歳未満児の発育・発達を踏まえ、日常生活を理解するための知識を学び、乳児が安心感を抱いて安全に過ごすことができる保育環境や関わりについて学ぶ。								
授業の到達目標		①乳児保育の意義、目的と歴史の変遷及び役割等を知る。 ②保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ③3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 ④乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。								
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	10 %			
フィードバックの方法		提出プリント及び課題等に評価を書いて返却し、その後の授業内で取上げ全体に向けフィードバックする。								
教科書・教材		「乳児保育演習ブック」〔第2版〕松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房								
参考書・参考文献等		「保育所保育指針解説」厚生労働省編 フレーベル館 「マザリーズの理論と実践」内山伊知郎 監修 北大路書房								
履修上の注意等		幼児期の教育に関連付けながら、乳児期の基礎知識を身に付けるように取り組む								
回	授 業 計 画		授業時間外学習							
			授業前・時間				授業後・時間			
1	乳児保育とは何か		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での不振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
2	「保育所保育指針」における乳児保育の理念と目標		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での不振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
3	乳児保育の歴史		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での不振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
4	乳児保育の基礎知識(1) 0~3歳児の発達の特徴と発達過程について		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での不振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
5	乳児保育の基礎知識(2) 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での不振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
6	乳児保育の基礎知識(3) 特別な配慮が必要な子どもへの支援		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での不振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
7	保育所・認定こども園における乳児保育(1) 「保育所とは」「認定こども園とは」		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での不振り返り課題に取り組む。(30分以上)			

8	保育所・認定こども園における乳児保育（2） 「保育所の生活活動」「幼保連携型認定こども園における生活活動」	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での不振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
9	乳児院における乳児保育	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での不振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
10	家庭的保育等における乳児保育	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での不振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
11	乳児保育が行われるその他の保育	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での不振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
12	子育て支援における乳児保育	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での不振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
13	保護者とのパートナーシップ 連絡帳等の記録・保護者との連携	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での不振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
14	職員間・地域の関係機関との連携	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での不振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
15	乳児保育の現状と課題	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での不振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K21032		子どもと音楽(1)				1	15	演習	30	前期	1年	工藤里砂子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
○		○		○								
身につけるべき力												
①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける												
②子どもの心身の特性を知っている												
③子どもにとって望ましい環境を理解している												
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												
ディプロマポリシー (学習成果)												
授業概要	子どもの音楽活動を展開するために、保育者に必要な基礎的知識・技能を習得し、音楽を豊かに表現するための想像力と表現力、音楽コミュニケーション力を養う。											
授業の到達目標	幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。保育現場で必要な季節の歌や手遊び歌などを習得したり、身近なものを用いて音を探求することで、音楽を通して子どもの感性や創造的表現を育むための、理解や支援に必要な基礎的知識・技能を習得する。											
単位認定の方法	期末試験	%	授業内小テスト	30	%	授業内活動	40	%	計	100	%	
	期末レポート	%	授業内提出物	30	%	その他		%				
フィードバックの方法	提出物や小テストを採点、コメントを記入し返却する											
教科書・教材	「幼児のための音楽教育」教育芸術社											
参考書・参考文献等	適宜資料を配布する											
履修上の注意等	各自ファイルを用意し、配布資料等を保管する											
回	授 業 計 画		授業時間外学習									
			授業前・時間	授業後・時間								
1	オリエンテーション 乳幼児の音楽表現活動について ワークショップによるコミュニケーション		入学前に配布した音楽資料をよく読んでおく・30分	教科書や配布資料を再読し、乳幼児の音楽表現活動について復習する・30分								
2	音楽理論①：音符と休符、タイとスラー、拍子記号、付点のリズム		入学前に配布した音楽資料をよく読んでおく・30分	授業で学んだことを復習し、確実に覚える・30分								
3	音楽理論②：強弱記号、速度記号、反復記号、スタッカート等その他の奏法		教科書p.185をよく読んでおく・30分	授業で学んだことを復習し、確実に覚える・30分								
4	手遊び歌に必要な歌と、鍵盤楽器によるメロディー奏（「おおきなくりの木の下で」「やきいもグーチーパー」「むすんでひらいて」他）		手遊び歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分								
5	手遊び歌①：「あたま・かた・ひざ・ぼん」「やきいもグーチーパー」「むすんでひらいて」他		手遊び歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	授業で学んだ手遊び歌を繰り返し練習し、確実に覚える・30分								
6	手遊び歌②：「グーチョキパーでなにつくろう」「アルプス一万尺」他 お絵描きうた：「たこにゆどう」「さかになっちゃんた」他		手遊び歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	授業で学んだ手遊び歌とお絵描き歌を繰り返し練習し、確実に覚える・30分								
7	4月の歌のメロディー奏①：「チューリップ」「ちょうちょう」「めだかの学校」他		4月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分								

8	4月の歌のメロディー奏②：「朝のうた」「おかたづけ」「おててをあらいましょう」他	4月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分
9	新聞紙による音の表現①：サウンド・エデュケーションによる音感受 新聞紙でどのような音を鳴らせるのかを探り、さらに記憶の中の水の音の再現を試みる	日頃から日常音や自然音などに耳をすませ、音楽表現へのつながりを探る・30分	新聞紙による音作りの可能性を探る・30分
10	新聞紙による音の表現②：水の音の発表	日頃から日常音や自然音などに耳をすませ、音楽表現へのつながりを探る・30分	新聞紙による音作りの可能性を探る・30分
11	歌唱①呼吸法と発声法	腹式呼吸について、資料やインターネット等で調べる・30分	授業で学んだ呼吸法と発声法を繰り返し行う・30分
12	歌唱②合唱パート練習	授業で学んだ呼吸法と発声法を繰り返し行う・30分	自分のパートを復唱する・30分
13	歌唱③合唱練習、発表	授業で学んだ呼吸法と発声法を繰り返し行う・30分	授業で学んだ呼吸法と発声法で、他の曲も歌う・30分
14	5月、6月の歌のメロディー奏：「こいのぼり」「ブンブン」「かたつむり」「とけいのうた」他	5月、6月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分
15	6月、7月の歌のメロディー奏：「山の音楽家」「あめふりくまのこ」「たなばたさま」「シャボン玉」他 まとめと振り返り（小テストによる）	6月、7月の歌の歌詞をよく読み暗譜する。小テストに向けて授業で学んだ内容を復習する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K21032		子どもと音楽(2)		1	15	演習	30	後期	1年	工藤里砂子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目								
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入					実務経験
○		○		○						
身につけるべき力										該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								○
		②子どもの心身の特性を知っている								○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している								○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる								
授業概要		子どもの音楽活動を展開するために、保育者に必要な基礎的知識・技能を習得し、音楽を豊かに表現するための想像力と表現力、音楽コミュニケーション力を養う。								
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。保育現場で飛鳥な季節の歌や打楽器の扱い方などを習得したり、身近なものを用いて音を探求することで、子どもの感性やイメージする力、音楽への興味関心を育むための、理解や支援に必要な基礎的知識・技能を習得する。								
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	30	%	授業内活動	40	%	計 100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	30	%	その他	%		
フィードバックの方法		提出物や小テストを採点、コメントを記入し返却する								
教科書・教材		「幼児のための音楽教育」教育芸術社								
参考書・参考文献等		適宜資料を配布する								
履修上の注意等		各自ファイルを用意し、配布資料等を保管する								
回	授 業 計 画				授業時間外学習					
					授業前・時間			授業後・時間		
1	7月、8月の歌のメロディー奏：「おぼけなんてないさ」「こぶたぬきつねこ」「アイアイ」「手をたたきましょう」他				7月、8月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分			右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分		
2	9月の歌のメロディー奏：「とんぼのめがね」「つき」「うさぎ」他				9月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分			右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分		
3	10月の歌のメロディー奏：「タやけこやけ」「バスごっこ」「おもちゃのチャチャチャ」他				10月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分			右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分		
4	11月の歌のメロディー奏：「どんぐりころころ」「まつぼっくり」「たきび」他				11月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分			右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分		
5	打楽器遊び①：教科書や配布資料などで打楽器の扱い方、鳴らし方を確認しそれぞれ鳴らす（タンブリン、鈴、カステネット、トライアングル）				教科書p.18～22「乳幼児と楽器」を読む・30分			打楽器の扱い方や留意点、対象年齢などについて復習する・30分		
6	打楽器遊び②：打楽器を用いての様々な遊び				打楽器の扱い方や留意点を確認する・30分			打楽器を用いた遊びを復習し、他の遊び方についても考える・30分		
7	打楽器遊び③：様々なリズムパターンで鳴らす打楽器の扱い方と遊びの振り返りを行う				打楽器の扱い方や留意点を確認する・30分			授業で学んだリズムパターンに合う曲を探る・30分		

8	リトミック：リトミックについて教科書や配布資料などで理解し、乳幼児に適したリトミックを体験する	教科書p.22～23「エミール・ジャック＝ダルクローズ」を読む・30分	リトミックの概要と、授業で取り扱った曲と動きを復習する・30分
9	12月の歌のメロディー奏：「ジングルベル」「森のくまさん」「雪」他	12月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分
10	1月の歌のメロディー奏：「お正月」「やぎさんゆうびん」「ぞうさん」他	1月の歌の歌詞をよく読み暗譜する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する・30分
11	簡易楽器製作①：教科書や配布資料を読み、手作り楽器活動への理解を深める 過去の作品などを参考に、子どもも作れる簡易楽器のアイデアを各自考える	インターネットや資料から、簡易楽器製作に必要な情報を集める・30分	身近にある廃材等から、簡易楽器製作に適しているものを探す・30分
12	簡易楽器製作②：楽器の製作、試奏	簡易楽器製作に必要な材料を集める・30分	楽器を完成させ、より良い響きで鳴らせるように工夫、練習する・30分
13	簡易楽器製作③：製作した楽器の発表と鑑賞	発表に向けて練習する・30分	発表内容を振り返り、さらなる改善を試みる・30分
14	簡易楽器製作（グループワーク）④：各グループで決めた曲に合わせて、製作した楽器を用い合奏をする	合奏に向けて練習する・30分	自身の発表を振り返るとともに、他者の発表からの気づきをまとめる・30分
15	2月、3月の歌のメロディー奏：「豆まき」「うれしいひな祭り」「思い出のアルバム」他 まとめと振り返り（小テストによる）	2月、3月の歌の歌詞をよく読み暗譜する 小テストに向けて授業で学んだ内容を復習する・30分	右手によるメロディー奏を、歌いながら弾けるように復習練習する 授業で学んだ内容を振り返る・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21032		表現		2	15	演習	30	後期	1年	工藤里砂子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
○		○	○	○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		領域「表現」のねらい及び内容を理解し、音楽、造形、身体、言葉などによる様々な表現を通して、幼児が表現活動を楽しむための支援に必要な基礎知識等を習得する。									
授業の到達目標		幼児の「あそび」という日常体験が「表現」につながり、また幼児の成長に不可欠な学びが含まれていることを理解する。幼児と共に感じ活動できる能力を涵養し、理解や支援に必要な知識、技能、表現力や態度等を身に付ける。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	30	%	授業内活動	40	%	計 100 %	
		期末レポート	%	授業内提出物	30	%	その他	%			
フィードバックの方法		提出物や作品、小テストを採点、コメントを記入し返却する									
教科書・教材		なし。適宜プリント等を配布する。									
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）									
履修上の注意等		各自ファイルを用意し、配布資料等を保管する 感触あそび「土粘土を楽しむ」では、衣類が汚れる場合があります。運動着またはエプロン等着用可。									
回	授 業 計 画				授 業 時 間 外 学 習						
					授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間			
1	オリエンテーション 幼稚園教育要領及び保育所保育指針における、領域「表現」のねらい及び内容の理解と、幼児の表現している姿やその発達を知る				幼稚園教育要領及び保育所保育指針の「表現」と「感性」に関わる項をよく読む・30分			幼稚園教育要領及び保育所保育指針や配布資料を再読し、乳幼児の表現活動について復習する・30分			
2	幼児が表現している様々な事例を、動画（参考DVD「主体的な遊びで育つ子ども」）を通して学び、それぞれについて考察する				幼児が遊んでいる様子を観察する・30分			授業で学んだことを復習し、その視点から再度幼児が遊んでいる姿を観察する・30分			
3	身近な素材による教材研究 感触あそび「土粘土」を楽しむ①：どろあそびから				4つの粘土は保育現場でよく使用されている粘土である。「土粘土」「小麦粘土」「油粘土」「紙粘土」の特性を調べておく・30分			学習内容を整理する 土粘土についての作文を作成する・30分			
4	身近な素材による教材研究 感触あそび「土粘土」を楽しむ②：かぜのかたち				材料の準備 日常生活で風を意識してみる・30分			学習内容を整理する・30分			
5	身近な素材による教材研究 感触あそび「土粘土」を楽しむ③：みずのかたち				材料の準備 日常生活で水を意識してみる・30分			学習内容を整理する・30分			
6	身近な素材による教材研究 感触あそび「土粘土」を楽しむ④：記憶とかたち				フィンガーペインティングについて調べておく・30分			学習内容を整理する・30分			
7	美術鑑賞法 ACOP (Art Communication Program) と対話型鑑賞法				美術鑑賞法 ACOPについて調べておく・30分			学習内容を振り返り、まとめる・30分			

8	新聞紙による絵本の効果音制作（グループワーク）①：絵本選び、役割分担	日頃から日常音や自然音などに耳をすませ、音楽表現へのつながりを探る・30分	絵本の内容から情景や音をイメージし、効果音制作に備える・30分
9	新聞紙による絵本の効果音制作（グループワーク）②：台本作り、効果音制作、練習	絵本の内容から情景や音をイメージし、新聞紙で効果音を探る・30分	発表に向けて練習する・30分
10	新聞紙による絵本の効果音制作（グループワーク）③：練習、発表と感想、考察	発表に向けて練習する・30分	自身の発表を振り返るとともに、他者の発表からの気づきをまとめる・30分
11	コミュニケーションとしての音楽表現：幼児の歌による合奏 音楽表現と身体表現の融合：ボディパーカッションとわらべうたを通して	小物打楽器の正しい鳴らし方や扱い方を確認する・30分	ボディパーカッションの様々な動作を復習する。 授業で取り上げたわらべうた以外についても探してみる・30分
12	総合表現としてのドラムジカ（グループワーク）①：選曲、台本作り	ドラムジカについてインターネットや図書館等から情報を集める・30分	選曲した歌と台本を覚え、練習に備える・30分
13	総合表現としてのドラムジカ（グループワーク）②：小道具製作、練習	小道具製作に必要な材料を準備する・30分	選曲した歌と台本を覚え、発表に備える。授業内で完成しなかった小道具を仕上げる・30分
14	総合表現としてのドラムジカ（グループワーク）③：練習、発表と鑑賞、考察	発表の流れを完全に把握し、歌や自分のセリフを繰り返し練習する・30分	自身の発表を振り返るとともに、他者の発表からの気づきをまとめる・30分
15	授業全体のまとめと振り返り（小テストによる）	小テストに向けて授業で学んだ内容を復習する・30分	授業で学んだ内容を振り返る・30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22052		情報技術(1)				1	15	演習	30	前期	1年	笹森雅子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
	○		○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		情報を適切に表現・発信するための知識を養い、情報機器（コンピュータおよび周辺機器）の操作およびアプリケーションソフトウェアを活用した文書作成・情報伝達などの技術を学ぶ。 ソフトウェアの操作内容は、日本情報処理検定協会主催日本語ワープロ検定1級・文書デザイン検定2級相当及びペンタブレットによるペイント描画の知識・技術の習得を想定している。										
授業の到達目標		情報機器を活用し、相手に対して的確に情報を伝えるにはどのような知識と技術を習得する。 自分のイメージした文書を様々な情報機器・ソフトウェアを活用しながら自由に作成できるようになる。 インターネット上のサービスを活用し、情報収集・情報発信ができるようになる。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計				0 %
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		提出課題（授業で演習する練習問題）について添削、返却をする。										
教科書・教材		使用しない（授業内容に応じて適宜プリントを配付する）。										
参考書・参考文献等												
履修上の注意等		目的意識を持って授業に臨み、特に欠席した際には次の授業前に欠席時の内容を補完しておくこと。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	○講義概要・コンピュータ実習室利用の留意事項を説明 ○習熟度アンケートの実施					事前にシラバスを読み、本科目の概要を理解しておくこと。			配付プリントの内容を整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（60分以上）			
2	○ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能（ページの設定・書式設定・印刷など）について ○ビジネス文書の基本構成について					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）			
3	課題作成1 近況報告を題材として、Wordによるページ設定・書式設定・印刷に取り組む					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）			
4	○ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能（表の作成・結合・分割・罫線修飾など）について					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）			
5	○オートシェイプ・図形描画機能を利用した地図等の作成(1)					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）			
6	○オートシェイプ・図形描画機能を利用した地図等の作成(2)					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）			
7	○タイピングテスト ○画像を扱うための基礎知識の理解、画像編集ソフトウェアの基本操作について 課題作成2 DTPによる名刺の制作方法と情報デザイン①					事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）			授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）			

8	課題作成2 DTPによる名刺の制作方法と情報デザイン②	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
9	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する①(企画)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
10	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する②(公文書製作)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
11	課題作成3 オリジナルのビジネス文書を作成する③(告知媒体製作)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
12	課題作成4 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について①	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
13	課題作成4 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について②	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
14	課題作成4 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について③	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
15	○習得した知識・技術を活用した文書作成技能テスト (文書デザイン検定2級程度の内容)	これまでに配付されたプリントを総合的に参照し、授業で演習した技術を応用できるように予習しておく。(30分以上)	自己採点してみて、できなかった箇所があれば、再度確認し、改善点を確認する。(30分以上)

ナンバリング	科目名	単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22052	情報技術(2)	1	15	演習	30	後期	1年	笹森雅子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目							実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入				
	○		○						
ディプロマポリシー (学習成果)	身につけるべき力								
	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								
	②子どもの心身の特性を知っている								
	③子どもにとって望ましい環境を理解している								
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要	複雑な表の作成、計算式・関数式の理解と活用、グラフの加工など「Excel」の操作の初歩を学ぶ。特に保育現場での活用を前提とした実践的な内容を重点的に扱う。日本情報処理検定協会主催表計算検定3級程度の知識・技術の習得を想定している。								
授業の到達目標	表計算ソフトウェア「Excel」を活用したデジタルデータの加工処理を学び、保育現場で活用できることを目指す。								
単位認定の方法	期末試験	40%	授業内小テスト	30%	授業内活動	%	計 100%		
	期末レポート	%	授業内提出物	30%	その他	%			
フィードバックの方法	提出課題（授業で演習する練習問題）について添削、返却をする。								
教科書・教材	使用しない（授業内容に応じて適宜プリントを配付する）。								
参考書・参考文献等									
履修上の注意等	目的意識を持って授業に臨み、特に欠席した際には次の授業前に欠席時の内容を補完しておくこと。								
回	授 業 計 画	授業時間外学習							
		授業前・時間	授業後・時間						
1	講義概要・表計算「Excel」の画面等の基本確認 基本操作や用語の確認、セルへの入力練習などを行う	事前にシラバスを読み、本科目の概要を理解しておくこと。	配付プリントの内容を整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（60分以上）						
2	課題作成5 「園日誌」等を題材に、セルや罫線について学習し複雑な表を作成に取り組む①	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）						
3	課題作成5 「園日誌」等を題材に、セルや罫線について学習し複雑な表を作成に取り組む②	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）						
4	「カレンダー」を題材に、計算式、セル参照（相対・絶対・複合）、コピー・ペーストについて学習する	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）						
5	代表的な関数式の入力方法、小数点の丸め処理、ソート機能について学習する	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）						
6	IF関数、論理関数（AND・OR・NOT）、ネスト関数（IF・論理関数）について学習する	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）						
7	課題作成6 これまで学習した機能を活用し、表計算3級程度の問題に取り組む	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。（30分以上）	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。（30分以上）						

8	条件付き集計関数を学習し、練習問題に取り組む	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
9	課題作成7 「預かり保育管理表」を題材にし、これまで学習した機能を活用し作成に取り組む①	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
10	課題作成7 「預かり保育管理表」を題材にし、これまで学習した機能を活用し作成に取り組む②	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
11	グラフ(複合グラフ含む)作成・加工(絵の貼り付け)について学習する	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
12	課題作成8 「成長記録表」を題材にし、表・グラフ作成に取り組む①	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
13	課題作成8 「成長記録表」を題材にし、表・グラフ作成に取り組む②	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
14	児童台帳」を題材にし、入力規則設定、検索・フィルター機能、条件付き書式設定、ウィンドウ分割について学習する	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する。(30分以上)
15	授業の振り返りとまとめ ・未達成課題への指導・助言と後期実技チェックを行う	これまでに配付されたプリントを総合的に参照し、授業で演習した技術を応用できるように予習しておく。(30分以上)	自己採点してみて、できなかった箇所があれば、再度確認し、改善点を確認する。(30分以上)

令和5年度

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22453		教育実習		4	-	実習		集中	1年	教職課程委員会	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○		○								○
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
授業概要		6月の柴田幼稚園における2日間観察実習から学習の動機をつかみ、観察・参加実習を通じて幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。									
授業の到達目標		学内で学んだ専門知識や技能を現場において総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて教師の職務を体験し、応用力を身に付ける。幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	40 %	その他	60 %				
フィードバックの方法		実習先からの評価を伝える。実習録の評価を行い返却する。									
教科書・教材		「幼稚園・保育所実習の手引き」 柴田学園大学短期大学部 幼稚園教諭課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、必要に応じて資料を配付する。									
履修上の注意等		実習の意義・目的・内容を十分理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	【柴田幼稚園2日間観察実習】 ○実習期間：6月初旬 ○実習施設：柴田幼稚園 ○実習内容：①幼稚園の一日の流れを知る。 ②子どもの遊びの実際を観察する。 ③保育者の子どもへのかかわり方を観察する。										
2											
3											
4											
5											
6											

7	【教育観察実習】		
8	○実習期間：11月中旬（1週間）		
9	○実習施設：履修者の希望を基に実習先を決定する。		
10	○実習形態：①観察実習②参加実習を中心に実施する。		
11	①観察実習 子どもの保育の基礎的、全般的な状況の把握		
12	②参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加		
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22452		教育実習事前事後指導				1	4	演習	8	後期	1年	島内智秋・佐々木典彰
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
	○		○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												
授業概要		この授業は2年間かけて計8回実施される。1年次は教育観察実習（11月）の前後4回。2年次は教育実習（9月）の前後4回。充実した実習を送り、深い学びを実現するための学習をする。										
授業の到達目標		現場に向かう姿勢を身につけ、実習を振り返ることの重要性を理解する。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	100 %	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		なし。随時プリント等を用いる。										
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領（平成29年告示）文部科学省										
履修上の注意等		出欠の回数も2年間通して計算されます。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	(事前指導) 実習の心得 実習録の書き方					左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上			
2	(事前指導) 指導案の書き方					左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			授業内容を復習し、不明な点は質問する・30分以上			
3	(事後指導) 教育観察実習を振り返る。					実習を通して印象に残っていることなどを整理する・30分以上			振り返りを通して今後の課題をあげる・30分以上			
4	(事後指導) 実習体験報告会を開き、本実習に向けて2年生から助言を受ける。					他の人の振り返りをみる・30分以上			今後の課題を克服する計画を立てる・30分以上			
5												
6												
7												

8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22011		保育者論		2	15	講義	30	前期	1年	相馬玲子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目								
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入					実務経験
	○	○		○						
ディプロマポリシー (学習成果)	身につけるべき力									該当項目に○
	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
	②子どもの心身の特性を知っている									○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○	
授業概要		「保育者に勝る天職はなし」保育者としての経験を活かし、保育の魅力について紹介します。教科書に沿って講義を進めて参りますが、机上では学ぶ事の出来ない実践者ならではの視点から保育士の素晴らしさについてお伝えさせていただきます。保育士に求められるのは、オリジナリティです。短大での学びに足跡を残す為に世界に一冊のノートを作成して頂きます。見た事・聴いた事にプラスして、感じた事・考えた事を書き留めましょう。自分の思いを文章で表現できる力を身に付ける事も保育士には大切なスキルとなります。保育者論の講義を通し、保育士として身に付けて欲しいスキルがイメージ出来るようになり、到達目標である保育士像を確立できる様な授業となっています。								
授業の到達目標		保育者に求められる資質、役割、専門性について具体的に理解し、あるべき保育者の姿について述べる事が出来る様になり、保育者としての基礎的知識、専門性を学ぶ事で自らの「保育士像」を確立する。								
単位認定の方法		期末試験	0 %	授業内小テスト	0 %	授業内活動	20 %	計		100 %
		期末レポート	40 %	授業内提出物	40 %	その他	0 %			
フィードバックの方法		提出レポートはコメントを書き添え次の時間に返却します。								
教科書・教材		編著・汐見稔幸・大豆生田啓友・「第2班」『保育者論』ミネルヴァ書房								
参考書・参考文献等		必要に応じて配布します。								
履修上の注意等		クラスメートの学ぶ権利を奪う事無く、私語は厳禁とします。提出物については期限厳守とします。								
回	授 業 計 画	授業時間外学習								
		授業前・時間	授業後・時間							
1	保育の道によろこそ・・・大歓迎いたします	夢を語れるように、保育士としての自分をイメージしノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)							
2	保育者になるという事	保育者の責任について考え、事前学習としてノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)							
3	魅力的な保育者とは	魅力的な保育士をイメージしてノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)							
4	保育者の一日	幼稚園・保育園で過ごした一日を思い出しノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)							
5	子どもの思いや育ちを理解する	子どもの特性・表現方法について考えノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)							
6	3歳以上児の関わり	3歳以上の子が出来る事をイメージし活動場面ごとにノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)							
7	3歳未満児の関わり	3歳未満の子に必要なかわりをイメージしノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)							

8	保育に絵本を	出来るだけ沢山の絵本と出逢い、作品への思いをノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
9	「豊かな生活」を作り出す保育者とは	保育士として大切な事をノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
10	子育て支援「保護者支援」が大切な訳	虐待などの現実を理解し、過去のニュース等をノートにまとめ自分の考えを書いてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
11	地域における子育て支援の重要性に付いて	集団に属していない子どもの存在について理解し、その支援の大切さについてノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
12	学びあう保育者とは	会話力…学生時代から磨く。友だちとテーマを決め意見交換をしたり語り合ってみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
13	保育者の成長と同僚関係	保育士である前に一人の人間として求められるものは何かを考えノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
14	保育者の専門性とは	保育者の専門性に付いてノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)
15	目指す保育者像	成りたい保育士・目指したい保育士の姿をノートにまとめてみる。(30分以上)	授業後は理解した内容をノートにまとめ整理する。(1時間以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22031		保育の計画と評価		2	15	講義	30	後期	1年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入					実務経験		
	○	○		○								
身につけるべき力										該当項目に○		
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								○		
		②子どもの心身の特性を知っている								○		
		③子どもにとって望ましい環境を理解している								○		
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		指導計画についての基本や実際の保育における計画、実践、記録、省察・評価、改善の過程の大切さを学び、全体的な計画・教育課程と指導計画の作成について具体的に理解する。										
授業の到達目標		子どもの理解に基づき、全体的な計画や教育課程の指導計画の作成について、その意義や具体的な方法について理解する。保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価について理解をする。全体的な計画や教育課程の指導計画は保育実践において柱となっていることを理解し、子どもにふさわしい生活が展開されるような指導計画について考えていく。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	60 %	授業内提出物	40 %	その他	%					
フィードバックの方法		課題レポートは添削、授業で解説する。										
教科書・教材		「教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画」岩崎淳子・及川留美・粕谷亘正著 萌文書林										
参考書・参考文献等		「0～5歳児指導計画の書き方がよくわかる本」佐藤暁子・川原佐公・月刊保育とカリキュラム編集委員編著 ひかりのくに										
履修上の注意等		自分でも様々な指導計画を調べ、多方向から保育における計画の意味を考えていけるようにすることが望ましい。										
回	授 業 計 画					授 業 時 間 外 学 習						
						授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間			
1	保育の基本について 保育の遊びや環境・10の姿について学ぶ					シラバスに目を通す 教科書を読んでくる			30分以上	教科書での振り返り 上		30分以上
2	教育課程・全体的な計画と指導計画について理解する					教科書を読んでくる			30分以上	教科書での振り返り 上		30分以上
3	幼稚園の理解① 幼稚園の基本について理解する					教科書を読んでくる			30分以上	教科書での振り返り 上		30分以上
4	保育所の理解① 保育所の基本について理解する					教科書を読んでくる			30分以上	教科書での振り返り 上		30分以上
5	幼稚園の理解② 幼稚園における教育課程と指導計画の実際について理解する 保育所の理解② 保育所における全体的な計画と保育の実際について理解する					教科書を読んでくる			30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上		30分以上
6	指導計画の作成の基本とその方法① 指導計画の形式や手順、作成方法「子どもの姿」について学び、作成する					教科書を読んでくる			30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上		30分以上
7	指導計画の作成の基本とその方法② 指導計画の作成方法「ねらい」「内容」について学び、作成する					教科書を読んでくる			30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上		30分以上

8	指導計画の作成の基本とその方法③ 指導計画の作成方法「時間」「環境構成」「予想される子どもの姿」について学び、作成する	教科書を読んてくる	30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上	30分以上
9	指導計画の作成の基本とその方法④ 指導計画の作成方法「保育者の援助」について学び、作成する	教科書を読んてくる	30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上	30分以上
10	幼稚園・保育所の全日の指導計画	教科書を読んてくる	30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上	30分以上
11	保育の実践と評価 保育の評価、指導計画と教育課程・全体的な計画の評価、要録の理解について学ぶ	教科書を読んてくる	30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上	30分以上
12	部分案の作成・留意事項 ①乳児、1・2歳児の発達の特徴を捉え、子どもの姿から部分案（2歳児）を作成する	2歳児の活動を考える 教科書を読んてくる	30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上	30分以上
13	部分案の作成・留意事項 ②3歳児の発達の特徴を捉え、子どもの姿から部分案を作成する	3歳児の活動を考える 教科書を読んてくる	30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上	30分以上
14	部分案の作成・留意事項 ③4歳児の発達の特徴を捉え、子どもの姿から部分案を作成する	4歳児の活動を考える 教科書を読んてくる	30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上	30分以上
15	部分案の作成・留意事項 ④5歳児の発達の特徴を捉え、子どもの姿から部分案を作成する	5歳児の活動を考える 教科書を読んてくる	30分以上	教科書での振り返り 課題の取り組み 上	30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22032		乳児保育(2)		1	15	演習	30	後期	1年	佐々木美子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目								
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入					実務経験
	○	○		○						
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力								該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								
		②子どもの心身の特性を知っている								○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している								○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる								
授業概要		乳児保育Iで学んだ発育・発達や家庭や地域社会と密接な関係にあることを踏まえ、広く社会にも目を向け、子どもや家庭を支援するための必要な援助等を把握する。指導計画の立案について考え、保育や配慮の実際について具体的に理解する。								
授業の到達目標		①3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 ②養護及び教育の一体性を踏まえ、乳児の生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ③乳児保育における配慮の実際・計画の作成について、具体的に理解する。								
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計 100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%			
フィードバックの方法		提出プリント及び課題等々は評価を書いて返却し、その後の授業内で取上げ全体に向けフィードバックする。								
教科書・教材		「乳児保育演習ブック」〔第2版〕 松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房								
参考書・参考文献等		「保育所保育指針解説」厚生労働省編 フレーベル館 「マザリーズの理論と実践」 内山伊知郎 監修 北大路書房								
履修上の注意等		毎回テキスト、配布プリントを持参する。演習時は動きやすい服装で行う。								
回	授 業 計 画		授業時間外学習							
			授業前・時間				授業後・時間			
1	6か月未満の子どもの育ちと保育内容①		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
2	6か月未満の子どもの育ちと保育内容②		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
3	6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育内容①		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
4	6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育内容②		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
5	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容①		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
6	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容②		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での振り返り課題に取り組む。(30分以上)			
7	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容①		学習範囲について教科書を読んで予習する。(30分以上)				教科書での振り返り課題に取り組む。(30分以上)			

8	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容②	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
9	乳児保育における指導計画①	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
10	乳児保育における指導計画②	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
11	観察・記録及び自己評価について	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
12	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境①	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
13	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境②	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
14	集団での生活における配慮	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)
15	環境の変化や移行に対する配慮	学習範囲について 教科書を読んで予習する。 (30分以上)	教科書での振り返り 課題に取り組む。 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22043		保育実習(1)		4	-	実習	-	集中	1年	保育士課程委員会	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○	○		○							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要		保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて保育士の職業を体験的に学習する。									
授業の到達目標		授業で学んだ知識や技術を基礎とし、観察・参加実習を通して①保育所の役割と機能②観察や子どもとの関わりを通しての子ども理解③子どもの保育及び保護者への支援④保育の計画、観察、記録及び自己評価⑤保育士の役割と職業倫理などを具体的に理解する。									
単位認定の方法		期末試験	0%	授業内小テスト	0%	授業内活動	60%			計	100%
		期末レポート	0%	授業内提出物	40%	その他	0%				
フィードバックの方法		実習先からの評価を伝える。また、実習録の評価を行い返却する。									
教科書・教材		保育所保育指針、必要に応じて資料を配付する。									
参考書・参考文献等		「幼稚園・保育所・施設実習 実習の手引」 柴田学園大学短期大学部 幼稚園教諭課程委員会・保育士課程委員会編									
履修上の注意等		学外実習の規定を遵守し、実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	【保育所実習】 ○実習期間：令和5年9月8日～9月15日（7日間） ○実習施設：履修者の希望を基に実習先を決定する。 ○実習形態：①観察実習②参加実習を中心に実施する。 ①観察実習 子どもの保育の基礎的、全般的な状況の把握 ②参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加 ○実習内容 1. 保育所の役割と機能 (1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり (2) 保育所保育指針に基づく保育の展開										
2											
3											
4											
5											
6											

7	2. 子ども理解
	(1) 子どもの観察とその記録による理解
8	(2) 子どもの発達過程の理解
	(3) 子どもへの援助や関わり
9	3. 保育内容・保育環境
	(1) 保育の計画に基づく保育内容
10	(2) 子どもの発達過程に応じた保育内容
	(3) 子どもの生活や遊びと保育環境
11	(4) 子どもの健康と安全
	4. 保育の計画・観察・記録
12	(1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解
	(2) 記録に基づく省察・自己評価
13	5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理
	(1) 保育士の業務内容
14	(2) 職員間の役割分担や連携・協働
	(3) 保育士の役割と職業倫理
15	※実習期間中に保育士課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。

ナンバリング	科目名	単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22042	保育実習指導(1)	2	15	演習	30	前期	1年	保育士課程委員会	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目							実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入				
	○	○		○					
ディプロマポリシー (学習成果)	身につけるべき力								該当項目に○
	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								
	②子どもの心身の特性を知っている								○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している								○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								○
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習を進めていくために、保育所実習及び施設実習の意義・目的・内容・方法について理解する。 ・事前指導として保育実習の知識や技術を習得するための講義と演習を行う。 ・事後指導として実習の振り返り、自身の課題と改善点を明確に評価する。 								
授業の到達目標	保育実習の意義・目的・内容・方法について理解し、実習に臨む心構えをもつ。また、実習記録の意義・方法を具体的に学び、実践力を習得する。								
単位認定の方法	期末試験	0%	授業内小テスト	0%	授業内活動	40%	計 100%		
	期末レポート	0%	授業内提出物	40%	その他	20%			
フィードバックの方法	課題やノートは、評価等を書いて翌週に返却する。								
教科書・教材	必要に応じて資料を配付する 『保育所保育指針の解説』厚生労働省 編 株式会社フレーベル館								
参考書・参考文献等	『実習の記録と指導案』大元千種監修 ナツメ社 『実例でわかる実習の日記&指導案 作成マニュアル』矢野真監修 成美堂出版								
履修上の注意等	実習への意識を高め、他の講義内容と関連させながら、実習に対する知識と理解を深めること								
回	授 業 計 画	授業時間外学習							
		授業前・時間	授業後・時間						
1	実習の意義・目的・内容・方法① 実習の意義・目的・内容・方法とあわせて本学の実習概要を理解し、実習を迎える準備をする	・保育実習と教育実習の違いを調べる。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。						
2	実習の意義・目的・内容・方法② 実習の具体的な内容や段階を理解し、実習に対する意識を明確にする	・保育所保育指針(序章)を通読する。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。						
3	保育所実習① 保育所の意義・役割について理解する	・保育所保育指針(第1章)を通読する。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。						
4	保育所実習② 幼児教育施設(保育所、幼稚園、認定子ども園)のそれぞれの意義・役割について理解する	・幼児教育施設を調べる。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。						
5	保育所実習③ 保育所の一日の生活(デイリー・プログラム)や保育士の役割・仕事内容について	・保育所保育指針(第2章, 乳児保育に関わるねらい及び内容)を通読する。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。						
6	実習に必要な書類の作成について	・観察実習の要項を通読する。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。						
7	施設実習① 施設の意義・役割について理解する	・施設実習について調べる。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。						

8	施設実習② 施設実習における役割を理解した上で、個々の実習配属先を具体的に検討する	・施設実習について調べる。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。
9	実習生としての心構え① 子ども理解の重要性を認識させ、その目的と方法を学ぶ 絵本の読み聞かせについて	・絵本について調べる。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。
10	実習生としての心構え② 実習先の特色を理解し、実習に向けての具体的な準備と課題意識を明確にする 紙芝居の読み聞かせについて	・紙芝居について調べる。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。
11	観察方法と実習記録① 実習記録の意義を踏まえ、記録内容や方法を理解する	・資料を通読する。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。
12	観察方法と実習記録② 実習での観察方法やポイントを具体的に理解する 実習生カードの提出	・資料を通読する。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。
13	観察方法と実習記録③ 実習記録の記述に関する留意事項を挙げ、実際の記録に適用できるようにする	・資料を通読する。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。
14	実習中に必要な留意点を確認する 実習にあたっての自己紹介の作成をする	・キャラクター折り紙を覚える。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習と自己紹介の練習。 ・30分以上。
15	実習を振り返り、自己評価および課題を明確にする必要性を認識する 自己紹介の発表をする	・手遊びと自己紹介の練習。 ・30分以上。	・資料や手遊びの復習。 ・30分以上。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K23032		言葉		2	15	演習	30	後期	1年	笹森雅子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目								
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入					実務経験
○		○	○	○						
身につけるべき力										該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける								○
		②子どもの心身の特性を知っている								○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している								○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている								○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる								
授業概要		乳幼児の言葉の発達過程を踏まえ、保育者として言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解する。特に教材として重要な「児童文化財」を学び、具体的な作品を通して感覚を磨き、模擬保育を行う。「児童文化財」の理解ではICTを利活用する。								
授業の到達目標		言葉の意義と働きを知り、保育者として、子どもの言葉の育ちの基盤となる豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基本的知識とその教材や実践について理解する。								
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	40 %	その他	%			
フィードバックの方法		レスポンスシートや授業での提出課題について添削、返却をする。								
教科書・教材		使用しない（授業内容に応じて適宜プリントを配付する）。								
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型こども園教育・保育要領								
履修上の注意等		授業で学んだことを日常生活に活かすことができるように、意欲を持って受講すること。								
回	授 業 計 画				授業時間外学習					
					授業前・時間			授業後・時間		
1	人間にとって「言葉」とは何か一言の働きと言葉を育むもの				事前にシラバスを読み、本科目の意義を理解しておくこと。			保育者として領域『言葉』を学ぶ意義を再確認し、配付プリント、ノートをしっかり整理する。（60分以上）		
2	保育の基本と領域「言葉」				事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）		
3	乳幼児期の言語発達① ー3歳未満児における言語発達				事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）		
4	乳幼児期の言語発達② ー3歳以上児における言語発達				事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）		
5	多様な感情体験と言葉				事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）		
6	信頼関係から生み出される言葉				事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）		
7	自分の考えや思いを伝える言葉				事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）		

8	「言葉に対する感覚」とは何か―言葉の楽しさ・美しさ	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
9	「言葉に対する感覚」を育む①―「言葉遊び」と保育	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークや保育実践で学んだ内容をさらに発展、活用できるように考え、調べてみる。(30分以上)
10	「言葉に対する感覚」を育む②―子どもと楽しむ「言葉遊び」	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークや保育実践で学んだ内容をさらに発展、活用できるように考え、調べてみる。(30分以上)
11	「児童文化財」とは何か―言葉を育て想像する楽しさ	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークや保育実践で学んだ内容をさらに発展、活用できるように考え、調べてみる。(30分以上)
12	「言葉」のイメージや想像を楽しむ①―絵本、紙芝居	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークや保育実践で学んだ内容をさらに発展、活用できるように考え、調べてみる。(30分以上)
13	「言葉」のイメージや想像を楽しむ②―物語(お話と幼年文学)	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークや保育実践で学んだ内容をさらに発展、活用できるように考え、調べてみる。(30分以上)
14	「言葉」のイメージや想像を楽しむ③―保育実践・模擬保育	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	保育実践もしくは模擬保育を通して、子どもたちにとってふさわしい保育計画・活動ができていたか自己評価し、改善点を整理する。(30分以上)
15	子どもの言葉の育ちにかかわる今後の問題	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	「言葉」をめぐる現代的課題と特別な配慮が必要な幼児への指導を振り返る。(30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K23001		絵本学(1)		2	15	講義	30	前期	1年	佐々木典彰・江莉川淳子・笹森雅子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○										
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									
		②子どもの心身の特性を知っている									
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
授業概要		絵本に関する専門的・実践的な知識と技能を身につけるため、地域でおはなし会等の実践経験豊富な専門家、図書館の業務に詳しい司書の方にもゲストスピーカーとしてお話しいただき、絵本に関するさまざまなことを学ぶ。									
授業の到達目標		授業で学んだことをどのように保育現場で活かせるか、または活かしたいかを述べることができる。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	100	%			
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。									
教科書・教材		認定絵本士養成講座テキスト (絵本専門士委員会課程認定部会認定絵本士養成講座テキスト作成ワーキンググループ 編集)									
参考書・参考文献等		随時、授業で紹介する。									
履修上の注意等		8割以上の出席が必須。 定員は50名とし、履修希望者が定員を超える場合は抽選とする。									
回	授 業 計 画				授業時間外学習						
					授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
2	絵本総論 (絵本とは何か)				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
3	絵本各論① (絵本の歴史、絵本賞について) ※ゲストスピーカーによる授業				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
4	絵本各論② (視覚表現、言語表現から見た絵本)				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
5	絵本各論③ (子供の知的・社会的発達と絵本との関わり)				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
6	絵本各論④ (メディアとしての絵本の位置づけ)				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
7	さまざまなジャンルの絵本① (物語の絵本)				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			

8	さまざまなジャンルの絵本② (昔話、童話を基にした絵本)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
9	さまざまなジャンルの絵本③ (科学絵本)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
10	絵本と出会う① (はじめての絵本との出会い) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
11	絵本と出会う② (保育・教育の場での出会い)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
12	絵本と出会う③ (図書館等での出会い～絵本の活用及び地域連携の可能性～) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
13	絵本と出会う④ (書店での出会い) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
14	絵本の世界を広げる技術① (絵本を探す技術) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
15	絵本の世界を広げる技術② (ワークショップ) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K23001		絵本学(2)		2	15	講義	30	後期	1年	佐々木典彰・江莉川淳子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○										
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									
		②子どもの心身の特性を知っている									
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要		前期「絵本学(1)」に引き続き、より実践的な技術を身につけ、感性を磨くため、地域でおはなし会等の実践経験豊富な専門家をはじめ、絵本作家、出版社の方にもゲストスピーカーとしてお話しいただき、絵本に関するさまざまなことを学ぶ。									
授業の到達目標		授業で学んだことを活かした読み聞かせを実践することができる。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	100				%
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。									
教科書・教材		認定絵本士養成講座テキスト (絵本専門士委員会課程認定部会認定絵本士養成講座テキスト作成ワーキンググループ 編集)									
参考書・参考文献等		随時、授業で紹介する。									
履修上の注意等		原則、前期「絵本学(1)」を履修していること。 8割以上の出席が必須。 定員は50名とし、履修希望者が定員を超える場合は抽選とする。									
回	授 業 計 画				授業時間外学習						
					授業前・時間			授業後・時間			
1	絵本の世界を広げる技術③ (絵本コンシェルジュ術) ※ゲストスピーカーによる授業				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
2	絵本を紹介する技術① (ブックトークの技術) ※ゲストスピーカーによる授業				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
3	絵本を紹介する技術② (書評・紹介文の書き方) ※ゲストスピーカーによる授業				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
4	絵本を紹介する技術③ (支援が必要な人々や高齢者への絵本の役割) ※ゲストスピーカーによる授業				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
5	おはなし会の手法① (おはなし会を開こう) ※ゲストスピーカーによる授業				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
6	おはなし会の手法② (おはなし会のテクニク) ※ゲストスピーカーによる授業				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			
7	絵本の持つ力 (さまざまな角度から絵本を見る) ※ゲストスピーカーによる授業				テキストを読む・30分以上			復習する・30分以上			

令和5年度

8	心に寄り添う絵本 (心のケアと絵本の可能性) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
9	絵本のある空間 (絵本のある望ましい空間とは) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
10	子供の心をとらえるもの (子供の心をとらえて離さないもの) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
11	大人の心を豊かにする絵本 (人生で3度、絵本を手にする喜び、大人にこそ絵本を) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
12	ホスピタリティに学ぶ (人を楽しませる為の手法を学ぼう) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
13	絵本が生まれる現場① (作家の感性に触れる) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
14	絵本が生まれる現場② (絵本の編集) ※ゲストスピーカーによる授業	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上
15	ディスカッション (認定絵本土としての今後の活動)	テキストを読む・30分以上	復習する・30分以上

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K21551		人間関係				2	15	講義	30	前期	1年	佐々木美子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												
授業概要		現代のこどもの人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因を理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を学び、身に付ける。他者との関係や集団との関係の中で、乳幼児期の人と関わる力が育つことを事例を通して理解する。										
授業の到達目標		幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。乳幼児期における人との関わりの発達を踏まえ、幼稚園や保育所、認定こども園における人間関係の大切さや、保育者の援助について理解する。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%					計 100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	10 %					
フィードバックの方法		課題レポートは添削、または授業内で説明をする。										
教科書・教材		演習 保育内容 人間関係 一基礎的事項の理解と指導法一 ・ 保育内容「人間関係」										
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領・保育所保育指針・その他										
履修上の注意等		領域のねらいや内容を理解するとともに覚え、それを基に人間関係に対する自分の考えをもち、保育の大切さを知る。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	現代社会と子どもの人との関わり・育ちの意味①					シラバスに目を通す 教科書を読む 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
2	現代社会と子どもの人との関わり・育ちの意味②					教科書を読む 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
3	領域「人間関係」のねらいと内容・内容の取扱いを理解する①					教科書を読む ノートにまとめる(ねらい・内容) 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
4	領域「人間関係」のねらいと内容・内容の取扱いを理解する②					教科書を読む ノートにまとめる(内容の取扱い) 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
5	領域「人間関係」における「自立心」と「協同性」の芽生えと育ち					教科書を読む ノートにまとめる(幼児期の終わり までに育ってほしい姿) 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
6	領域「人間関係」における「道徳性・規範意識の芽生え」と「社会性の育ち」の芽生えと育ち					教科書を読む ノートにまとめる(幼児期の終わり までに育ってほしい姿) 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
7	乳幼児期の子どもの人間関係のひろがり					教科書を読む 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			

8	3歳児の姿、育ちと遊びや人と関わる力の育ち	教科書を読む	30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み)	30分以上
9	4歳児の姿、育ちと遊びや人と関わる力の育ち	教科書を読む	30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み)	30分以上
10	5歳児の姿、育ちと遊びや人と関わる力の育ち	教科書を読む	30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み)	30分以上
11	遊びの中での人との関わり・異年齢保育における人間関係	教科書を読む	30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み)	30分以上
12	人との関わりが難しい子どもへの支援	教科書を読む	30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み)	30分以上
13	保育における個の育ちと集団の育ち	教科書を読む	30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み)	30分以上
14	園・家庭・地域の生活と人との関わり・人間関係をめぐる諸問題	教科書を読む	30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み)	30分以上
15	まとめ 幼児期の人間関係と学童期以降の育ちのつながりを理解する	教科書を読む	30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み)	30分以上